

至誠無息
堅忍不拔



創立明治33年(1900)
開校明治34年(1901)
神奈川県第二中学校



神奈川県立小田原高等学校同窓会 榎友会会報

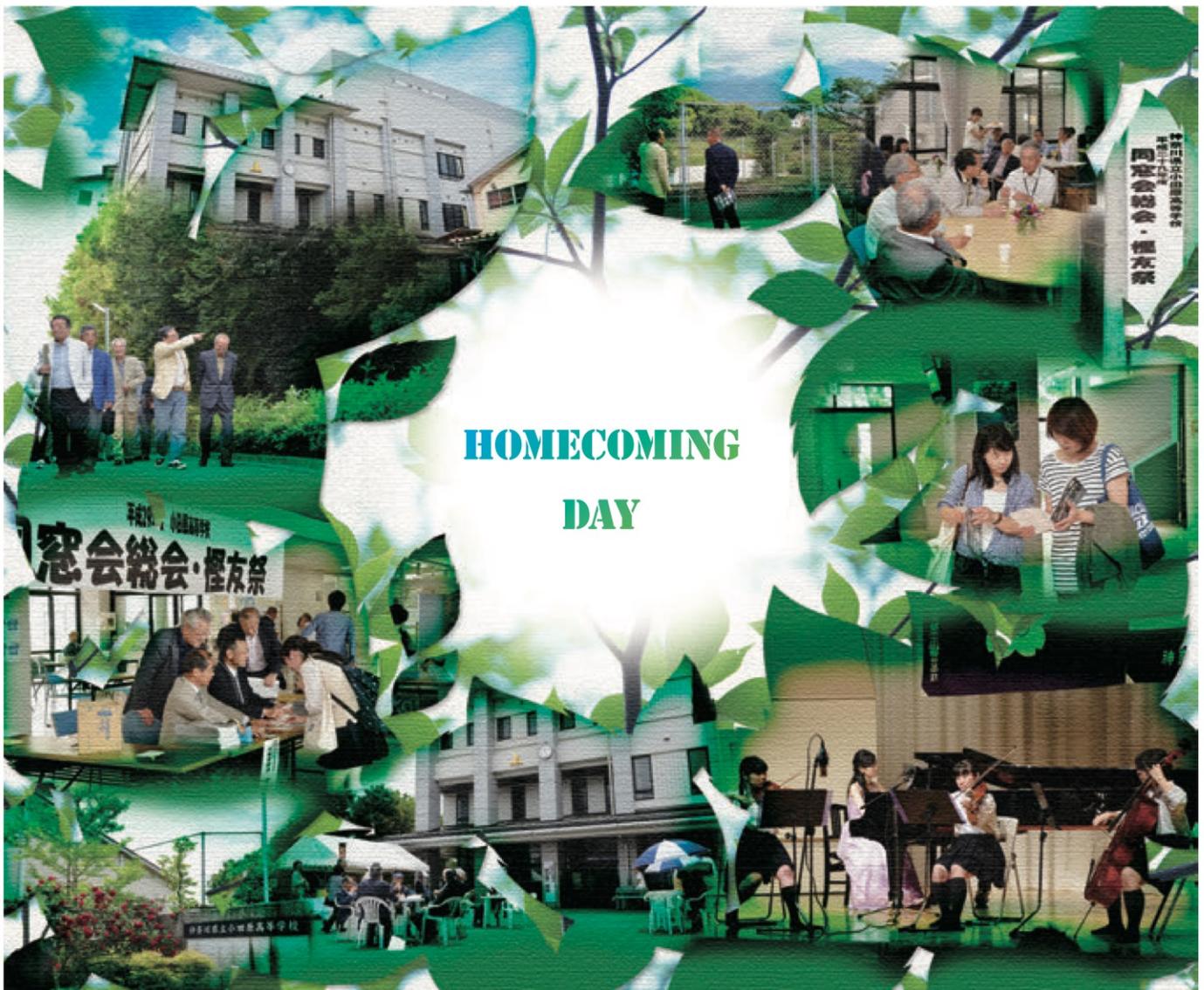
題字:大島修穂(雅文)さん(高32) 背景:榎林と上庭の写真

第29号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 榎友会

発行者 会長 津田憲一郎
編集者 広報委員会
委員長 奥津晋太郎

住所 〒250-0045
小田原市城山3-26-1
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org



平成30年度 榎友祭 (小田高ホームカミングデー) / 総会

期日:平成30年5月13日(日) 会場:小田原高校

※上記は現在計画中です。確定次第、榎友祭のホームページでお知らせします。
(<https://odako.info/>)

榎友祭(小田高ホームカミングデー):各校内施設
同期会やクラス会、部OB会などの同時開催を歓迎します。
同窓会総会:視聴覚教室

新緑の母校に帰る 総会・榎友祭 (小田高ホームカミングデー)

5月14日、総会・榎友祭 (小田高ホームカミングデー) を開催。
高19同期会の企画による「シンポジウム・三人展」(別掲)を中心に、「在校生とのコラボによるコンサート」や「活躍する同窓生パネル展」など初めての企画も実施。500名を超える来場者で、一日賑わいました。



高19の皆さん中心に受付を担当

◆卒業の節目を祝うー開会式

開会式では全員で校歌斉唱。卒業の節目を迎えられた期(高9、19...)の方々に記念の小田高絵葉書を贈呈。奥津和彦、鍵和田正弘両常任幹事(高9)に代表して受け取っていただきました。



奥津、鍵和田両氏に記念品

◆人事案他を承認ー同窓会総会

総会の参加者は約1000人。小野康夫同窓会長(高13)と反町聡之校長の挨拶に続き、栗原博(高20)氏の進行で議事が進められました。4月22日に開催した常任幹事会の審議結果(28年度会務報告・事業報

告、同一一般会計決算、財産台帳・会計監査結果、29年度事業計画・一般会計予算、常任幹事会議事録)について会長から報告。引き続き、総会の協議事項として津田憲一郎(高20)氏の会長選任を始めとする人事案他について会長が説明。原案通り承認を得ました。



同窓会総会

◆新企画ー活躍する同窓生パネル展

各界で活躍する同窓生をパネル展示する新企画。シンポジウムのテーマに沿って学術分野で活躍する次の7名の同窓生を紹介。天野郁夫氏(高6、東京大学名誉教授、教育学)、井出光氏(高19、首都大学東京名誉教授、英語学)、高橋実氏(高19、名古屋工業大学前学長、工学)、渡部直樹氏(高19、慶應義塾常任理事、経営学)、柏木俊行氏(高30、ソニー・プリンシパルエンジニア、ブルーレイディスク)、田口真氏(高

35、立教大学教授、惑星大気物理学)、中戸川仁氏(高45、東京工業大学准教授、分子細胞生物学)。

この展示は小田高祭でも実施。その後、母校のエントランスホール内の同窓会展示コーナーで毎月1名を展示しています。



活躍する同窓生パネル展

◆校史ガイドが説明ー校史展示室

校史展示室では明治150年記念の企画展「神奈川県第二中学校の教育」を開催。昨年度開設した教材展示室も公開。養成講座を修了された「小田高校史ガイド」9名が説明を担当。87名の来場でした。



熱心に見学



高11公開講演会

◆多彩にグループ参集企画
同期や部活の仲間が集うグループ参集企画。本年は高11・23・28・



現役生とのコラボ

◆講師も参加ーキャンパスツアー
毎年人気のキャンパスツアー。シンポジウムの講師も参加し、熱心に校内を見学しました。
◆在校生と共演ー八幡山コンサート
小田高吹奏楽部・弦楽部の部員と井上弦(高38、クラリネット)氏、古屋沙樹(高62、ピアノ)氏が共演。翌週からの試験にもかかわらず出演いただいた現役生の心意気に感謝します。

◆例年通りの賑いー恒例の催事
模擬店は「東華軒」、「だるま」に「セキグチベーカーリー」。
ティーパーティーには昨年に引き続き高32同期会が手作りのクッキーを提供。シンポジウムの講師も加わり歓談。全員で「冠たる伝統」と「校歌」を斉唱。あつという間の一日でした。



手作りクッキー

32・39各同期会、水泳部OB会「極泳会」、「比奈の会」が参加。公開講演会作品展+コンサート、教室内ワークショップなどが活発に行われました。
メイン企画や運営の中心を担う高19同期会を前年度担当の高18同期会と次年度担当の高20同期会が支援する形で準備と当日の運営が進められたのは今後の基本形として心強い。ご協力をいただいた母校と校内幹事の皆様、広告にご協賛いただいた皆様、そして準備の段階からご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

榎友祭実行委員長

蛭田完美(高15)



第二十代同窓会長に就任しました

津田憲一郎(高20)

5月の総会にて新役員(7ページに掲載)とともに新たに3年間の任期を務めます。
明治40年の発足から丁度20代目になるとの事ですが、歴代の会長や役員が積み上げてきた伝統を一步一步これからも積み上げて参ります。
振り返りますと特に小野康夫前会長(高13)が進めたこの6年間は会費納入者の減少にどの様に対処するか、まさに同窓会存続にかかわる危機感から様々な改革を実現してきました。
同窓会活動の源泉でもある会費納入対策でも同窓会の魅力アップをいかに実現するか、ホームカミングデーの充実や小田高祭への参加により現役生徒との交流等、OB会から見て遣り甲斐の多い事業を手掛けて来ました。

また、「母校に面倒をかけない」との思いから、電話を設置し、週1回ではありますが、事務局員の配置まで実現しました。
私としても副会長として一緒に努力もし、その難題に前会長のご指導の下、一緒に走ってきた3年間でもありました。
勿論、どの取り組み一つを取っても終わりのない事業です。
私が会長を務める期間も長い伝統

のほんの一部を会員の皆様のご協力のもと過ごす事になるかと思えます。
毎年総会時に開催する「小田高ホームカミングデー」も毎年同期の会が担当するという事が定着し、次回は私の同期が担当する事になっております。
団塊世代の最後尾にある高20は485名を数え、高18の528名に次ぐ卒業生がいます。(実際には団塊ジュニアの世代が学んだ高42が513名、高44が514名の卒業生を数え、4番目になります)
既にホームカミングデーに向けて実行委員会が開催され高20からの企画案「講演」と「音楽演奏」が了承されました。
講演は、東京農工大学特任教授である朝倉哲郎(高20)君にお願いしています。絹による人工血管、再生医療材料の研究開発を精力的に行っている、先端医療の現状など興味深い話が期待されます。
また、音楽演奏は齊藤秀次(高20)君が所属する「キヨシ小林withウクレレ・オーケストラ・オブ・ジャパン」の出演により、高20同期のメンバーや在校生とのコラボレーションも検討しています。
勿論ホームカミングデーだけでなく、5年ごとに作成してきました同窓会名簿の作成も会員との大きな絆になる事業です。
この八幡山第29号がお手元に届くと同時に同封された申し込み用紙をご活用頂ければと思います。
そのほかにも、私がこの原稿を書いている時点で既に実施済みの事業があります。
私の会長就任が承認された総会と同時に開催された「29年度榎友祭小田高ホームカミングデー」や、6月に開催された「第8回自然環境フォーラム」等、それぞれの事業がこの会報に詳しく掲載されております。
それらの結果には課題もあります。最初に申し上げました様に一朝一夕に解決できる課題ばかりではありません。

一步一步会員の皆様と一緒に積み上げながら、進むしかありません。同時に、その事が、現役の小田高生にも様々な好影響をもたらす事が出来ると思います。課題にもエネルギーが湧いてきます。そんな思いを共有しながら共に進めたいと思います。
最後になりますが、退任された小野会長はじめ他の役員のご尽力に感謝申し上げます。就任の挨拶とします。

あした 未来からの伝言「シンポ報告」

まだまだ元気だ、 百段坂を登っている！

私たち高19回卒業生がめでたく卒業50年を迎えました。私たちが小田原高校に入学したのは昭和39年4月でした。当然卒業は42年3月(?)。入学当時東海道新幹線の建設工事が最終段階にあり小田原駅の裏駅(現在は西口と言っています)は新幹線ホーム、駅舎の建設で大変な有様でした。しかしこれも東京オリピック開催直前の10月1日に営業開始となり、鉄道を利用して通学していた生徒の迷惑は解消となりました。

また、入学当時、小田高は校舎の建替えの真っ最中でした。一部だけ鉄筋コンクリートの新校舎になっていました。弓道場とプールの前に3階建てでワンフロア3教室がそれぞれ。1年生では1組から3組がここに入ることができました。この教室では、新潟地震の際プールの水が揺られて波が起こり、プールサイドに溢れ出たのを記憶しています。世界に目を向けると1年生の時にトンキン湾事件が起こりアメリカがベトナムに武力介入を開始。今でもニュース解説で時々話題になる日韓基本条約の締結などのエポックがありました。

2年生当時には西隣の大陸で文化

大革命が起こっています。そして3年。田舎の縛りの緩い受験校でゆるゆると勉強に励み卒業となりました。学生運動活発化の兆しがある大学や、それぞれの行くべき道へと純真無垢な私たちは向かったのです。そして、それからのことはご自身の来し方を振り返ってください。

さて、極友祭。19回卒の卒業50周年記念の催事①シンポ、②三人展そしてメインの③同期会について報告します。

①シンポジウム

シンポジウムの準備は三人展同様、同窓会雑用係の同期生数名で準備が始まりました。名古屋工業大学前学長の高橋実(高19)さんのご意見を伺いに名古屋1泊と遊び半分を決め込んで出かけ、名工大キャンパスや岐阜県多治見市にあるセラミックスの研究所を見学させていただきました。が、一番の思い出は名古屋は栄の居酒屋で手羽先やらなにやらと名古屋飯を食べたこと。同窓会の重鎮の皆様「君たちは名古屋へは何しに行ったんだい?」と責められたりも返す言葉はございません。しかし、この名古屋行きでシンポのタイトルは「あしたからの伝言」に決



高橋・渡部・井出3氏によるシンポジウム

定。「これが成果です」と胸をはって重鎮の方々に言葉を私は返したい。慶応義塾大学の渡部直樹(高19)さんには恐るおそる連絡をとりました。高校当時のことを覚えていたこととで「安心。雑用係の数人で三田の地に足を踏み入れ、歴史ある塾監室に伺い、企画の大略をお伝えしました。会談後、構内にある立派なラウンジ(?)にご招待いただき、ビールやらコーヒーやらをご馳走になりました。その後、高橋さん、首都大学東京名誉教授の井出光(高19)さんに我ら雑用係数名で再度三田にお邪魔し、ご出演のお三方を中心に打合せをしていただきました。井出光さんはわが国では珍しい古英語の専門家です。古英語とは古臭いとお思いの方がいらっしゃるかもしれませんが、Amazing Graceの歌詞についての考察を披露していただいた際は、ブルーグラスという

音楽に興味のある私にはこんな身近なことも研究されるのかと少々驚きました。それは歌詞の一番最後のフレーズ「Than when we first begun」の「begin」に関してでした。何故beginの過去形でなく、過去分詞が使われているのか? : 論考を掲載した冊子(先輩教授の退官記念誌)が小田高の図書館に寄贈されていますので興味のある方は是非お読みください。井出さんは首都大学東京を退官され、現在は東京都内の大学に出講されています。シンポジウムについて近くに住まいする私がお宅に度々伺いして、参加していただけのように要請させていただきました。

シンポジウムのお題は「未来からの伝言」です。

高橋さんは、来し方を振りかえり小田高時代バドミントン全日本女子選手との対戦で、他人への尊敬の大切さを学んだこと。かけがえのなかった東大駒場寮での生活、就職活動の失敗、図らずも名工大でセラミックスを研究することになったことなどをまず語ってくれました。研究開始当時は資源としての粘土が減少し始め、廃棄物からセラミックスを作る状況になってきたそうです。時代は変わる。戦後70年、今や少子高齢化とグローバル社会が焦眉の問題となりました。これからの日本の進むべき道は如何に。セラミックスも日本社会も変化に対応しなければなりません。フィルムとカメラの富士フ



高橋実名古屋工業大学前学長

イルムがこれまで蓄えた技術を使って全く別企業に生まれ変わる。こうした状況下での「ものづくり」、「ひとづくり」の大切さ、アナログ感覚の涵養や文化芸術への関心を持ち続けること。そして最後に、50年後「小田高が無くなると思ったら、どんな社会になっているだろう」と考え続けてくださいと語られました。

渡部さんの演題は「現代における『学問のすすめ』」。渡部さんは海外の大学での研究・教育の経験が豊富です。我が国日本におけるこれまでの研究や大学教育を振り返り、そして「これからの大学教育に求められること」、「これからの産業・ビジネス」、大学人からの伝言として「新『学問のすすめ』」、そして「50年後の社会」を語っていただきました。「50年後の社会」には渡部さんの哲学のほんの一端が示されています。「制度は自生的秩序であり、最良・最善は存在しない、制度は常に意図せざる結果を生む」が印象的でした。

それ故に「トレード・オフの中から悪
さ加減の少ないものを選ぶ」は、私た
ちが現在から未来を選択してゆくと
えて重要な指針となると感じました。



渡部直樹慶應義塾大学教授

井出さんは英語の歴史と未来につ
いて語ってくれました。英語の時代
区分として古英語（アングル人、サ
クソン人などの侵入期）、中英語（ノ
ルマン人の征服）、近代英語（印刷
術の導入）に区分される。現代英語
の語彙は本来語（ゲルマン語系）と
借用語で構成され、その割合は本来
語15〜25%、ラテン語系50%、ギリ
シャ語系10%、残りの15〜25%はそ
他の言語であるとのこと。語彙の
構成比は歴史が反映されたもので、
現代英語にも次のような変化が見ら
れるそうです。文法の変化、綴字法
の変化、性差別を無くす方向への変
化、標準発音の変化などです。これ
らは英語を母国語とする人々によっ
ても、また第二母国語として利用す
る人々（インド人、シンガポール人
等）や外国語として利用する人々（日
本人等）が英語の国際語化により増
え続けることで引き起こされるよう

です。また、英語圏諸国の経済や文
化への憧れの大きさにも注目する必
要があるのではとのことでした。



首都大学の井出光さん

お三方の提言を戴き大いに啓発さ
れるものがありました。ただ進行の
不手際でシンポジウムが尻切れト
ンポとなってしまうことが残念でな
りません。これは偏に企画者の力不
足によるものです。慎んでお詫び申
し上げます。



進行を務める杉浦氏(右)と植木氏(左)

②三人展

19回卒の仲間には何故か(?)芸
術の方面で活躍している方々が
いらっしゃる。今回はそのうち同

窓会で雑用を引き受けている者が良
く知っている3人の方に登場を願
いました。陶芸家の柴田雅章さん、写
真家の内野克美さん、画家の椎野
聖さんのお三方です。

柴田さんは小田原の地からはるか
に離れた丹波篠山に工房を持ち意欲
的に作陶を続けられています。丹波
の土を使い、木灰で釉薬を自ら作
り出し、暮らしの中で普段使われ
る質の高い器づくりを励んでいます。
皆さんはスリップウェアをご存
知でしょうか？柴田さんはイギリス
のスリップウェア技法を明らかにさ
れ「芸術新潮」の誌上で技法を公開
されたそうです（技法解明の記事
はWikipediaを参照しました）。ス
リップウェアの技法解明は柴田さん
の「世界中の古今の陶器を学び、新
しい器作りに挑戦する」という姿勢
の賜物です。これまで幾多の展覧会
に出品され、多くの受賞をされ、個
展の開催も各地でおこなわれていま
す。三人展では大皿や壺、小品の湯
飲みなどの作品を展示しました。
内野さんは大学卒業後、著名な写
真家細江英公氏の講座を受講した縁
で、氏の助手として写真家への道を
スタートされました。内野さんとい
えば大型カメラ「8×10」によるネ
パールの風俗や文化、ヒマラヤの
峰々の大パノラマ写真が有名です。
また、子供や桜の写真にも意欲的に
取り組まれ、多くの作品がカメラ専
門誌に掲載されています。今回は
大パノラマから1点、「桜の夢」か

ら2点の作品を展示しました。また、
内野さんが講師を務めるオリジナル
フォト研究会の生徒さんの作品も5
点展示しました。



三人展に集う同級生

椎野聖さんは画家として今はまだ
全く無名です。が、幼少の頃から好
きだった絵を描くことを追求してき
た求道の人です。高校生の頃、絵画
に対する思いを相談したところ、美
術の善波先生に無視されたそうで
す。大学は2年生で中退し、現代思
潮社が設立した「美学校」で絵画を
学び始めました。我が同期の小田
原市文化レポーター氏は椎野さんの
絵について「温かさ、懐かしさに
包まれ、爽やかな風の匂いを感じま
す。描かれた動物たちは優しく語り
かけ、その向こうにサティイや、ド
ビッシの音楽がかすかに聞こえる
ような気さえします」と優しい眼差
しを向けています。三人展には象や
キリン、孔雀やフクロウの絵を展示
しました。

この三人展には、「江戸っ子」委
員会のメンバーをはじめ、多くの同
期生が準備に参加され、滞りなくで
きましたこと、皆さんに感謝いたし
ます。おかげさまで会場は同期生で
終日にぎわいました。

③同期会

樗友祭の当日夕刻から小田原市民
会館で実施しました。同期会には1
00余名が出席し、卒後50年の無事
を祝す盛会となりました。シンポジ
ウム出演の大学人3名や三人展の芸
術家が登壇しこの日の感慨について
話されました。記念撮影や話の花
輪がここかしこにできたりと楽し
い時間を過ごすことができました。
「冠たる伝統」「天が下しる」を歌っ
て散会。クラスごと二次会へと出
かけて行きました。

同期会の開催には多くの時間が必
要でした。各クラスから幹事が出て
協議すること計8回。名簿の確認、
役割分担、同期会進行の段取り等々
細かなものから積み上げてなんとか
無事に終了できました。

同期会を進めるうえで、特にご苦
勞された19回卒生の常任幹事の皆様
そしてクラス幹事の皆様お疲れさま
でした。そして、有難うございました。
これを機に人生の残りをみんな
で楽しいものにしていけたらと願っ
てやみません。

杉浦健一(高19)

30年度のメイン企画
**高20同期会が
 講演と音楽演奏を計画**

平成30年度榎友祭(小田高ホームカミングデー)は30年5月13日(日)に母校で開催します。

卒業50周年を迎える高20同期会がメイン企画の準備を進めています。今回は目玉が二つ。講演「八幡山トーク」と音楽演奏「八幡山コンサート」です。

八幡山トーク

東京農工大学工学部 特任教授・名誉教授 朝倉哲郎(高20)氏の講演。テーマは「絹で創る人工血管―再生医療材料の研究開発」(仮題)。

以下、朝倉氏の論稿(「高分子」66号2017年9月号)の冒頭を引用します。

「強さと美しさを兼ね備えた絹は『繊維の女王』としてよく知られている。一方、長年にわたり外科用縫合糸として用いられてきた一面もある。そこで、絹をカイコが創るタンパク質として認識し直し、その素晴らしい構造と特性を活かして、焦眉の急を要する小口径絹人工血管を開発しようとする。最近の小口径絹人工血管の研究について紹介する。」

最先端の研究開発についてわかりやすくお話しただけのことと思います。

◆朝倉哲郎氏プロフィール



朝倉哲郎(高20) 東京農工大学工学部 特任教授・名誉教授

1977年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。工学博士。1980年日本大学松戸歯学部理工学教室助手、1981年東京農工大学工学部助教、教授を経て、2015年退職、現在に至る。同大学科学博物館館長や日本核磁気共鳴学会会長等を歴任。繊維学会賞、高分子学会賞等受賞多数。現在、科研費(日本学術振興会科学研究費助成事業)で小口径絹人工血管の開発や、内閣府インパクトプロジェクトで高強度・高弾性クモ糸絹繊維の作製とNMR構造解析等を推進中。

八幡山コンサート

斉藤秀次(高20)氏が所属する「キヨシ小林 with ウクレレ・オーケストラ・オブ・ジャパン」のコンサートです。

以下、web情報を引用します。

◆ウクレレ・オーケストラ・オブ・ジャパンとは?



キヨシ小林 with ウクレレ・オーケストラ・オブ・ジャパン

「ウクレレ・オーケストラ・オブ・ジャパンは、キヨシ小林主宰のウクレレだけのオーケストラです。ウクレレをこよなく愛する39名(2017年現在)のメンバーが集まりいろいろなイベントで演奏しています。

今年結成10年目を迎え、益々充実した演奏活動を行っており、2月にはウクレレ・ピクニック in ハワイへも参加・演奏し、3月には7回目となる自主コンサートをいたしました。演奏する曲はキヨシ小林のアレンジによるアンサンブル曲で、ジャズやポップス、ハワイアンなど多岐に渡ります。ジブリ音楽も多く演奏しており、2008年に発売されたCD「ウクレレジブリの森」では、2曲参加しています。

私たちはウクレレならではの音楽性や親しみやすさを活かし、たくさんの人にウクレレの素晴らしさを伝えたい、また自分たちも楽しみたい、

という気持ちでこれからも頑張って活動していきます。」

◆キヨシ小林氏プロフィール



キヨシ小林氏

1975年高田渡、なごら健彦等のバックミュージシャンとしてプロ活動を開始。1988年日本人として初めてフランスの「ジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル」に出場。1992年日本で初めてのパリスミュージックバンド「ビストロテンポ」をアコーディオニスト&ヴォーカリストのパトリック・ヌジェ氏と結成。現在は、ギター、ウクレレ、バンジョー、タヒチアンウクレレ奏者として活動の他、テレビCM、CDのアレンジャー、作詞作曲、教則本の執筆と多方面において活動中。ジャズ、ハワイアン、ポップス、ボサノバ、シャンソン：などのジャンルを越えた、音楽の目には見えない『やさしさと情熱』を目指す。

「ウクレレ」はハワイアンのイメージが強いと思いますが、前述のとおり、広いレパートリーを持つオーケストラです。

講演で学んだ後は音楽演奏で大いに盛り上がりましょう。

榎友祭実行委員長

蛭田克美(高15)

29年度からの役員等です

役員等は、会員の皆様と同窓会を繋ぎ、役員等が相互に連携して同窓会活動を行っていきます。会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

Table with columns for roles (President, Vice President, etc.), names, and graduation years. Includes sub-tables for '小田原高等学校同窓会 役員等名簿' and '校歌委員会'.

Table listing members of the '同期会(卒業回) 常任幹事' (Concurrent Graduation Class Executive Officers) with columns for name, graduation year, and role.

Table listing members of '地域・職域等同窓会 常任幹事' (Local/Professional Area Alumni Association Executive Officers) with columns for name, graduation year, and role.

各卒業回において、新たに同期会を結成する場合は、5万円を限度として同窓会から補助を受けることができます。ただし、同期生全体を対象とするもので、クラス会単位での開催は該当しません。詳細は同窓会ホームページ(表紙参照)の「同期会結成補助金交付要領」をご覧ください。

在校生とともに校歌・応援歌を声高らかに 第12回青春かながわ校歌祭に参加

校歌祭委員会委員長 渋谷賢一 (高17)

9月30日
27校同窓会が集合

朝から好天に恵まれた30日、神奈川県立富岡高校の卒業生が在校生等と共に母校の校歌・応援歌を斉唱する「青春かながわ校歌祭」が厚木市の厚木文化会館において開催されました。小田高樫友会は、12回連続の参加。「校歌祭」は、「かながわ校歌振興会」が主催、県教育委員会の共催のもと、実行委員会を設置し開催されています。今回の実行委員会は、厚木東高校同窓会が中心です。



大応援と一緒に演奏

26校の出演者総数は、卒業生1445名、在校生417名、教職員等137名の計1999名。1校平均75名。因みに、昨年(第11回)の出演者総数は、2024名でした。

樫友会員と在校生が参加

小田原から大型バス2台に分乗した会員と会場に直行した会員合わせて64名、在校生・教員34名、合計98名が参加しました。(参加者の内訳は、下段に記載)

参加する在校生は、応援団OB有志の往時を偲ばせる指導の下、小田高武道館に於いて8月1日と9月2日の2回練習を行い、樫友会員以上の習熟度となりました。

当日は、津田憲一郎会長(高20)と反町聡之校長をトップに応援団OB会有志と校歌祭委員の誘導のもと、在校生の剣道・野球部員、そして樫友会員が校訓の「至誠無怠」「堅忍不拔」を染めた手拭を鉢巻にして肅々と参加しました。

校歌・応援歌を 声高らかに斉唱

樫友会は、第一部8番目に出演。「逍遙歌」が静かに流れる中、出演

者はその「逍遙歌」を口ずさみながら舞台上に整列。

今回も剣道部員のリード、応援団OBによる大太鼓の響きによって会員と在校生が声を合わせ、元氣よく且つ整然と歌い上げました。

歌った曲は、応援歌の「天が下しる」(大正13年作)、「冠たる伝統」(昭和22年発表)と「コチャエ節」(昭和15年頃作)、校歌(昭和3年制定)の4曲です。

3曲目の「コチャエ節」では、校歌祭の名物ともなっている出演者全員が肩を組み列ごとに左右身体を動かしながら歌いました。



ハチマキの手拭を右手に持ち「校歌」斉唱

「大天地にそそり立つ…」で始まる校歌では、鉢巻の手拭を右手に持ち、上下に強く振りながら天にも届かんばかりに声高らかに歌い上げ、最後に小田高へのエールを行い会場から大きな拍手を頂きました。

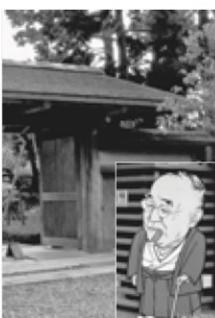
出演者全員の顔には、やり遂げた満足感が溢れていました。

福島県立富岡高校 「校歌を歌い隊」が特別出演

同校は、東日本大震災の福島第一原発事故で避難を強いられ、本年4月に休校。福島から卒業生らでつくる「歌い隊」と本県等に住む避難者が一緒に復興にかける思いを校歌に込めて歌い、会場の大きな拍手と涙も誘っていました。「歌い隊」は2年前から月に1度校庭で校歌を歌う活動をしています。

旧吉田茂邸を懐かしく見学

出演終了後、会員40名が本年4月に再建された大磯の旧吉田茂邸を見学しました。旧吉田茂邸はカーター米大統領を始め国内外の要人が訪れたところでした。



旧吉田邸の内門(兜門)

再建された数奇屋建築の本邸や池泉回遊式の日本庭園、七賢堂などを見学し、その素晴らしさに改めて驚嘆するとともに当時の吉田茂に思いを馳せていました。

参加高校一覧 (出演順・同窓会名略)

〈第一部〉希望ヶ丘高校/吉田島高校/横須賀大津高校/商工高校/港南台高校/秦野総合高校/横浜修悠

館高校/小田原高校/平塚農業高校/横浜立野高校/平塚江南高校/逗子高校/鶴見高校

特別出演 福島県立富岡高校

〈第二部〉厚木高校/光陵高校/湘南高校/横浜平沼高校/追浜高校/麻溝台高校/秦野高校/横須賀高校/横浜緑ヶ丘高校/川崎高校/神奈川県立工業高校/横浜翠嵐高校/厚木東高校

樫友会員・在校生参加者数 卒別等一覧

| | | | |
|-------------|----------|---------|----|
| ★樫友会員(単位:名) | 計64名 | | |
| (高4) | 2 (高5) | 3 (高7) | 2 |
| (高8) | 3 (高9) | 5 (高10) | 13 |
| (高11) | 1 (高12) | 1 (高13) | 12 |
| (高14) | 1 (高15) | 2 (高16) | 2 |
| (高17) | 2 (高19) | 1 (高20) | 3 |
| (高22) | 1 (高23) | 2 (高25) | 1 |
| (高26) | 1 (高27) | 1 (高30) | 1 |
| (高31) | 1 (高32) | 1 (高36) | 1 |
| (高37) | 1 | | |
| ★学校関係 | 計34名 | | |
| (教員) | 6 (剣道部員) | 7 | |
| | (野球部員) | 21 | |
| ★合計 | 98名 | | |

次回(第13回)横浜で開催

日程 平成30年10月21日(日)
場所 県立青少年センター
実行委員長選出同窓会 商工高校雄飛会

来年も多くの会員の皆様と一緒に歌えること、そして親交を深められますことを楽しみにしています。

「小田原の歴史と文化を巡って」 榎友ウォークを開催しました

榎友会の新たな親睦事業として、28年度から、各回テーマを決めて「榎友ウォーク」を実施しています。

第1回目は、昨年11月23日に「小田原城の歴史と文化をたどる」というテーマで、小田原駅から城址公園、母校八幡山、小峰の空堀、荻窪用水を経て風祭駅までの約7kmを巡りました。参加者からは、「小田原にもこんなに知らない良いところがあった」という感想も寄せられ、好評のうちに終了しました。



小田原用水にて

3月25日には、第2回目として「小田原の文化を巡る」板橋界隈と海辺の小路の散策」をテーマで開催しました。当日は、冬のような冷たさの



老櫛荘にて

早川漁港で、各自、昼食をすませた後は、海辺の小路へ。幕末の小田原藩台場跡、森有礼の別荘地跡、伊

藤博文の別荘であった滄浪閣跡、御幸の浜の明治天皇行在所跡など南町界隈の海辺の小路を散策した後、千度小路、かまぼこ通りなどを歩き、午後3時、なりわい交流館で解散となりました。一休みの後、市民会館2階に場を移し、有志でお茶とケーキで反省会をしました。2回目の参加者は、同窓生やその家族、友人など総勢35名でした。参加者からは、「小田原の文化や歴史の一端に触れることができ良かった」といった感想がありました。



かまぼこ通り

この「榎友ウォーク」は、これからも年に2回、11月と3月に予定しています。開催の案内は、小田高同窓会のHPでお知らせします。

なお、第4回は、3月に南足柄の早咲きの桜を巡るウォークを予定していますので、同窓生だけでなく、家族や友人をお誘いの上、奮ってご参加ください。

交流委員会

第8回 小田高自然環境フォーラム、愉しく開催 全国高校サッカー準優勝の 当時のキャプテンも講師で登場

今年も自然環境フォーラムの季節がやってきた。開催は6月18日。会場は母校の集成館ホール。子どもと一緒にの家族も姿を見せ話題豊富な催しとなった。



会場風景

タイトルは「あなたは知っていますか？植物パワー」。さあ、その紹介です。

トリカブトは「クスリ」です!?

講師は川口数美(高3)さん。東北大学大学院から農水省へ。現在は三和生薬㈱(本社・宇都宮市)で薬用植物の品種改良を続けている。「天下一品ではありません」。川口さんのパワーある声が会場に響く。社長は元海軍軍人。川口さんに「元気なう



講師① 川口数美さん

ちは研究を続けてほしい」とお墨付きを出している。

「全国高校サッカー準優勝当時の主将」
「母校でまさか研究の話をするなんて…」と感慨深げだ。川口さんは昭和26年、小田高が全国高校サッカーで準優勝したときの主将。会場の関心はそのサッカーに…。

川口さんの講演が始まった。
「トリカブトはどんな植物?」
キンポウゲ科で、オダマキ、フクジュソウも同じ科だ。南半球では発見されていない。日本では沖縄を除く全国に分布し40から50種はある。種芋(母根)、附子(子根)、莖、枝葉、花のどこにも毒がある。花弁のように見えるが実は萼。母根に付いた附子を特殊加工したのが生薬で、薬物のトリカブトだ。この植物に触れても大丈夫。川口さんはトリカブ

ト畑で25年間も調査をしているが、中毒になったことはないという。

【松本清張の小説にも毒物として登場】

人気作家の松本清張はトリカブトの毒を扱った推理小説を書いている。沖縄県では実際に保険金目当てでトリカブト殺人事件が起きた。室町時代の狂言「附子」にもトリカブトが出て来る。現代にはいり秋田県の宮林署で職員が蜂蜜を食べて食中毒になった。ミツバチがトリカブトの花(毒がある)を集めていたのが原因だった。

【クスリになるのは?】

トリカブトは西洋では毒薬につかわれることが多いが、東洋ではむしろ薬に使われてきた。減毒方法を早く見つけたからだ。三和生薬では最初は群馬や栃木県で、現在は北海道で栽培、そこで附子を原料に薬にしている。医療用附子製剤と生薬製剤だ。効能は神経症、関節リウマチ、消化器系や婦人病、かぜ、糖尿病などだ。会場から「帯状疱疹で悩んでいる。その処方薬に?」と悲鳴のような質問が。「薬事法では農業研究者は病気の対処療法を話せない。漢方医に聞いて...」

【サッカー余談】

全国準優勝のことに質問が飛んだ。「ボクは勉強はしなかったが、サッカーの練習は必ずやった」と川口さん。「数学だけはできた。それで東北大に進めた」と。会場の在校生には真正面からのシュートのようにだった。

キノコ狩りは楽しいぞ!



講師② 酒井利幸さん

講師の森の自遊人、酒井利幸(高21)さんは、高校生のときは自動車部にいた。運動場で中古車の運転練習をしていると、サッカー部や陸上部からジャマ扱いにされたそう。

【箱根・金時山登山では最年少記録】

酒井さんは生後8か月のとき、父親のリユックに入れられて金時山に行っている。「最年少の登山記録保持者です」と。大きくなって山頂の金時茶屋で当時の登山者名簿を探して貰った。だが残念! 発見できなかった。この話からキノコ狩りへと展開した。

【キノコは植物なの?】

「キノコは菌です」、カビの仲間でもある。日本国内で約5千種、世界では6万種はあるだろうという。山にはキノコは一年中生えている。食用となると夏から秋にかけてが最盛期だ。キノコは自由に採っていいのか。やはり山の持ち主に断った方が

いい。入山鑑札券などがあればそれを使う。採集ルールを守ろうと酒井さんは言う。

【じゃあ、キノコ狩りの始まりです】

会場のスクリーンに投影されたのは、まずタマゴタケ。傘が赤く毒キノコのようなが食用。美味で仏料理の食材だ。日本テレビの新日曜ドラマ『フランケンシュタインの恋』のバックに映るベニテングタケは、童話の世界をつくり出す、れっきとした毒キノコ。キヌガサタケはレースを羽織っている。中華料理では最



タマゴタケ



キヌガサタケ

高級食材だ。朝早く出て夕方に萎んでしまう。

【初心者向けのキノコ】

人気があるのがハナイグチ。直ぐ見つかる。ぬめりがあるがこれが美味。大根おろしやキノコ汁で食べれば申し分なし。夏のキノコの代表格がチチタケ。北関東の人たちはよく食べている。

【テレビ局はキノコ大好き?】

イタリアではボルチーニと言われるヤマドリタケは、フジテレビのドラマ『貴族探偵』の第1話に登場。なじみの薄いキノコだが、非常に美味。酒井さんの密かな楽しみだそう。NHKの朝ドラ『ごちそうさん』ではクロカワが登場。俳優近藤正臣が料理好きの父親役で調理して見せた。酒井さんは「テレビ局のディレクターの間では、キノコは密かなブームかな?」と推察していた。

【森の少女少女合唱団】

酒井さんが撮るキノコの美しい姿や珍しい写真。小田高同窓会報『八幡山』やこのHPでご紹介できないのは残念だが、個展の企画もありそう、その機会にぜひ見て戴きたい。

食べられないキノコの一つセンボンクズタケの姿はきれいだ。「私は森の少女少女合唱団と言っているんです」と酒井さん。「山ではキノコに逢う愉しみがある。でも夢中になると方向感を失い迷子になる。ご注意を」と警鐘をならす。この日紹介されたのは40種類。木の上に付いている珍しいキノコ、人間の頭ほどもある大型のオオモミタケ、生の珍品キクラゲ、ブナ林で採れるブナハリタ

ケ、杉林で採れるスキヒラタケなども登場した。

【箱根に現れた猛毒のキノコ】

最近、箱根・仙石原で見つかったのが猛毒のカエンタケ。手が触れただけでも火傷をする厄介なヤツだ。

【毒かどつかの見分け方は?】

酒井さんは断言する。「見分ける方程式はありません。ひとつひとつ覚えるしかないでしょう。迷信のたぐいは信じないように」と。

機能性野菜の科学

講師の佐竹元吉(高12)さんは、昭和薬科大学の薬用植物園でいままも研究を続けている。講演は在校生の前に繰り上げて行われた。



講師③ 佐竹元吉さん

【アンドレスの畑では】

機能性野菜は南米アンドレス、中央アジア、熱帯のアジア、地中海沿岸、アフリカなど各地で見られる。アンドレスの野菜ではまずムラサキトウモロコシ、大腸がんの予防作用があるペルーで話題になるのはカブの一種マカ。アブラナ科の植物で、貴重な

滋養強壯剤である。このエキスは筋肉痛、凍傷、養毛剤に使われる。

【日本のかかわり】

ラッカセイも原産地は南米大陸だ。薬としてペルーからメキシコに伝わり脂肪酸が豊かな食材である。ジャガイモは、やけどや湿疹にも使われる。ドイツのフリードリッヒ一世は食用として普及させた。日本にはオランダ交易で運ばれてきたが、明治時代には英国から川田龍吉男爵が持ち込み、それが男爵薯となった。トウガラシは豊臣秀吉の海外遠征で朝鮮半島に持ち込みキムチ漬に使われるようになった。

【中央アジアでは】

ニンニク、タマネギなどが挙げられる。ニンニクは血圧降下作用、動脈硬化の軽減作用がある。タマネギは動脈硬化の予防効果、胃弱や便秘にもいい。タマネギに含まれるアリシンは血液改善効果が期待される。調理中に涙が出るのはアリシンによるもので、硫化アリルが催涙作用になるからだ。

【熱帯アジアの野菜】

まずシヨウガ。かぜや腰痛、食欲減退などの症状には必要な食材だ。健胃薬にもなる。シヨウガがもつ殺菌効果で、刺身などのなま物の食材に添えて使われる。このほかレンコン、ゴーヤそれにコマも機能性野菜である。

【キャベツやレタスは地中海沿岸から】

キャベツは古代ギリシャでは薬用、古代ローマでも保健食だった。内臓

の胃壁や腸壁のただれの修復作用がある。胃の不調にはキャベツをバリバリ食べる人がいる。キャベツはケルト人が野生の植物ケールを改良した。葉は結球してキャベツに、花がブロッコリーとカリフラワーに。生活習慣病の予防にいい。レタスは古代エジプトに記録がある。日本には平安時代に中国を経て入ってきた。美肌効果と動脈硬化の予防になる。

【アフリカの野菜、余話】

ゴマはスーダン東部が原産地。日本では縄文時代の出土記録があり、奈良時代には畑で栽培されていた。ゴマ油は食用と灯油用だ。アラビアンナイトの「開け！ゴマ」は、肛門を意味するアラビア語からきているそうだ。

小田高生からの報告



小田高生物部の部員は現在8人、1年次と2年次が各4人。春は文化祭の準備、夏は昆虫採集と標本づくり、冬は小田原白梅ライオンズクラブと早稲田大学の科学コンテストの発表準備に情熱をかけている。文化祭では酒匂川と早川の魚で釣り堀をつくり、来場者に愉しんで貰った。イカの解剖もやった。活動報告は遠藤京助さん(2年生)が代表でおこなった。

【宇宙空間の実験と共に】

宇宙空間の実験に登場している緩歩動物クマムシ(体長1ミリ未満、4つの脚)。小田高生物部は昨年

引き続きこの実験を行った。前回は乾眠(棲息環境が乾燥するところなる)からの復活だったが、今回は乾眠時間とその復活率の関係だ。

【クマムシの採集と実験パターン】

小田高周辺でのコケから採集したクマムシは、スタンドライトと簡易ペールマン装置で10匹を確保。第1回実験は、クマムシと水の入ったペトリ皿。これにシートをかぶせたもの、かぶせないもの、シートに穴をあけたもの、あけないものまでの4パターン。シートをかぶせなかった皿のクマムシだけが乾眠から復活した。

【第2回以降は…】

こんどは主食のコケに水を加える量とその復活時間の実験。だがコケが邪魔をして実験は失敗。第3回目は最初の実験で成功したシートをかぶせない皿をベースに、水の量を3パターンにした。その量に応じての復活は確認できた。

【実験の結果報告】

乾眠時間と復活率との相関性の確認は出来なかった。来年は復活率が確認できるように再度チャレンジする積りだ。



フォーラムの開幕に先立って、小田高同窓会の津田憲一郎会長(高20)が、「私の住む山北町ではトリカブトの群生をよく見る。キノコ狩りも楽しい。今日はそれらの勉強をさせて戴き、フォーラムが更に充実するように」と挨拶をした。小田高



挨拶する津田同窓会長



剣持小田高教頭

の剣持雅章教頭(高30)は「フォーラムが在校生と共に開かれることが嬉しい」と、学校側からの期待を寄せた。フォーラムの司会は中山和也(高11)さんが行った。

生物部OB会

会長 牧林 功(高4)

【お知らせ】

このフォーラムの内容は、小田高生物部OB会HP「しろだも」でご覧になれます。「小田高同窓会・桜友会」からリンクするか、「小田高生物部」または「しろだも」で検索してください。

企画展
 展覧会
 明治150年記念
 神奈川県第二中学校の教育

教育方針

吉田庫三初代校長は、明治維新の原動力を生み出した吉田松陰の甥である。しかも松下村塾に学び、松陰刑死後の吉田家を継ぎ、萩や東京世田谷の松陰神社の例祭にはいつも祭主として立った方である。小柄でやせていたが、威容にあふれ、どんな困難にも屈しない気迫に満ちていた。一方、人間らしいあたたかな情に富み、人格者として尊敬を集めていた。生徒の規律、校風の樹立をきわめて厳格に指導した。阿部宗孝第二代校長が明治44(1911)年、「至誠無息」「堅忍不拔」の扁額を講堂正面に掲げ、これを校訓としたが、その起源はすでに吉田校長の教育方針に発していた。吉田校長は自ら質素な詰襟服で年中通し、質実剛健の気風を実践した。制服のズボンのポケットに手を入れることを禁止し、生徒が自宅において着物で外出する時でも、必ず制帽をかぶり、袴



初代校長吉田庫三先生

教育課程

『神奈川県立中学校規則』に従って授業を行った。一日5時間で午前4時間、午後1時間、授業時間は45分であった。3学期制で、夏期休業は7月21日から9月10日まで。吉田校長は自ら修身の授業を受け持った。吉田校長は松陰のすべての著述を編纂し、『松陰先生遺著』を刊行している。しかし、校長の口から松陰に関する話は一度も出たことはなく、常に教訓の対象としたのは二宮金次郎であった。二宮金次郎先生こそ、おまえら郷土の先覚・大先輩として学べし」と、宮内省発行の『報徳記』を教材に講義した。また、明治38(1905)年度より毎年、外国人の先生1名が英語を教えた。生徒たちが一番困った教科はこの英語であった。農村から入学した生徒のほとんどはA、B、Cなど

をつけさせた。また、冬でも襟巻や手袋の使用を認めなかった。小説類を読むことは休業中でも禁止。飲食店、芝居の劇場、寄席などに入ることも禁止。ぜいたく品であった自転車による通学を禁止し、通学距離が7〜8キロくらいまでは徒歩通学とした。父母たちから相当抗議もあったが断固続行した。



明治39年の2年生たち

学級編成・生徒数

見たこともない文字であった。

明治34(1901)年4月、生徒80名が入学した。1年甲組・乙組の2クラスで40人学級であった。各学年2クラス40人学級で修業年限は5年であったので、全校生徒数は400名である。生徒の家庭はおおむね中流であった。本校の開校は、庶民の子に勉学の機会を提供したのである。当時、大金を費やして東京の中学校まで通学できる者は、少数の恵まれた家庭の子に限られていた。また、学校は高等小学校を卒業すればよいと考えられ、中学校へは1村1名くらいしか入学しなかった。



明治36年度1学年間生徒出欠席調

学習・試験

自宅学習は「神奈川県第二中学校生徒心得」により、「毎日2時間以上学習すること。当日授業のあった科目を復習し、特にむずかしいと感じた科目に力を注ぎ、好きな科目に偏ってはいけない。翌日授業のある科目を予習する」とされていた。試験は「学期試験」と「学年試験」の二種類に分かれていた。「学期試験」は1学期と2学期の各学期に一回行い、「学年試験」は3月の学年末に行うもので、ともに百点満点であった。試験とは別に百点満点の「日課点」があった。開校した明治34年度は1年生5名が落第した。



明治34年度 神奈川県第二中学校 生徒心得

生徒指導

吉田校長の厳格な教育方針の下、本校は厳しい生徒指導を行った。『神奈川県立中学校規則』が定める「誹責」「停学」「放校」だけでなく、寄宿生徒に対して校外に出ることを禁じる「禁足」、通学生徒に対して放課後2時間以内学校に留置し謹慎させる「留置」などがあった。明治36(1903)年度は問題行動が21件発生し、延べ60名を処罰した。

学校行事

兎狩 明治36年から毎年1月、全校生徒で実施した。場所は久野村(現在の小田原市久野)である。兎は1月になると山の上の方が寒くなるため、山麓へ降りて来る。兎は登るのは上手であるが、下るのが下手であることを利用し、生徒たちは山の下に網を張って、上から追い立てる。なかなかむずかしく、やっと捕獲できた時の喜びは大変なものであった。人気のある学校行事となり、昭和21年まで続いた。

運動会

明治38年から校庭で開催し、大勢の保護者、女学生、小学生、一般の観客が来場した。種目は1年の提灯競走、2・3年の抽籤競走、4・5年の戴囊競走、2年の攻城、3年の猫袋、4年の白兵戦、1・2年の信号体操、2年の目隠し車夫、5年の仮装行列、体操選手器械体操、5年の決死隊、3年以上の徒歩四周競走、小学生の徒歩一周競走、先生方の提灯競走など。

修学旅行

明治38年から実施した。最初の修学旅行は10月10日から14日まで、日光・足尾地方に4泊5日した。5年生39名、引率教員2名。生徒の服装は制帽、制服、編み上げの革靴、ゲートル、雑囊であった。

発火演習

明治38年から毎年一回、本校の近郊で行った。発火演習と

は、体操の授業で練習する兵式体操を野外で実践する、全校生徒による大がかりな軍事演習のことである。生徒たちは三十年式歩兵銃を肩にして行軍し、田畑で散開し、発砲して大いに氣勢をあげた。

部活動

剣道部 明治34年、撃剣(剣道)の課外授業を開始した。これが剣道部の始まりである。指導者は体操の佐々木猪右衛門先生。明治36年に雨天体操場が落成してから、さらに盛んになった。

野球部 生徒の大角真八(中1)が上手で、明治35(1902)年頃に野球部が認められた。他校との試合は一切厳禁であったが、時々寄宿舎対本校の試合が行われ、手に汗握る猛烈な試合が行われた。

庭球部 生徒の国見和宏(中2)が熱心で、明治36年に庭球部(ソフトテニス部)が創られた。校庭に8面ほどのテニスコートを造り、生徒たちは昼休み、われ先にとテニスを楽しみ、放課後も日没まで練習した。

器械体操 明治37(1904)年頃、器械体操に生徒たちが強い興味を持ち、放課後、練習を行うようになった。運動会では大車輪や宙返りを行い、最も華々しかった。

進路状況

明治39(1906)年に卒業した第1回生たちは、神奈川県第二中学

校の生徒である誇りを持ち、一生懸命勉学に励み、体を鍛えることにしそんだ。特に旧制高等学校や師範学校に進む生徒たちは、猛烈に勉強した。第1回生たちの心を最も痛めたことは、果たしてこの新設の学校を出て、歴史ある全国の中学校卒業生と実力を競えるのかどうか、ということであった。したがって、先生方はもちろん、第1回生たちも上級学校への入学率を非常に気にし、進学準備に心を砕いた。それは次にバトンを渡す第2回生以降の後輩たちに、自信を失わせることを恐れたからである。幸いに当時最も難関とされていた旧制高等学校へ5名が入学した。このことは母校に強い責任感を抱いていた第1回生にとって、大変な喜びであった。



明治40年度の教職員。中列右から2人目が阿部宗孝第二代校長、中列右端が英語のハウストン先生

校史展示室から

展示室の公開

今年(明治元(1868)年から150年に当たります。さらに吉田庫三初代校長の生誕150年でもあります。これらを記念して企画展「明治150年 神奈川県第二中学校の教育」を開催し、明治時代の中等教育はどのようなものだったのか、初代校長はどのような校風を樹立しようとしたのかを紹介しています。多くの方々に小田高の原点を再認識していただき、次代を担う若者には先人たちの精神に学び、飛躍していただくことを願っています。

今年初めて、小田高に新着任された先生方に小田高の歴史と伝統をご理解いただくため、母校のご協力をいただき、4月3日に校史展示室・教材展示室をご覧いただきました。先生方6名と教育実習生8名が来場され、小田高校史ガイドが説明しました。

新入生への展示室公開は、23年度より母校のご理解・ご協力のもと、新入生に小田高の歴史を学んで小田高生としての自覚と誇りを持つってもらうため、4月に展示室をご覧いただいています。この公開は、最も大切な公開行事の一つとして実施しています。本年度も4月7日と11日に担任の先生が自分のクラスを引率され、1年全9クラス、計332名が見学されました。資料委員と小田高

校史ガイドが横山大観の富士、吉田庫三初代校長、校訓扁額、閑院宮家などについて説明しました。新入生たちも先生方も熱心にご覧になり、大変充実した行事でした。

樗友祭(小田高ホームカミングデー)の5月14日は、87名が来場されました。今年も窓梅会が窓梅会資料室を公開されました。小田高祭の6月3日・4日は、84名が来場されました。

1年次保護者懇談会の6月16日とPTA講演会の11月18日は、大多数の保護者が3年間に一度も展示室をご覧になっていないことから、本年も保護者を対象に公開しました。学校説明会の10月28日と12月9日は、小田高を志望する中学生と保護者を対象に公開しました。

※展示室は毎週火曜日10~14時にご覧になれます。土日にご希望の方は問合せ先までご連絡ください。

「校史展示室等の管理運営業務基本協定書」の付属文書決定

協定書は26年3月に母校と同窓会の間で締結していましたが、付属する「管理運営業務の内容」「貸出備品一覧表」「毎年保存する校史資料」が決定していませんでした。反町校長先生のご高配と劔持教頭先生(高30)のご尽力により、5月20日に母校と同窓会が協議を行い、6月14日までにすべての付属文書を決定する

ことができました。両先生に心から感謝を申し上げます。

小田中の鉱物・剥製標本等の保存支援

3月21日に小田高理科の先生から資料委員会へ、主に旧制小田原中学校で使用した鉱物・剥製標本等の現状についてご説明をいただきました。旧制中学の鉱物・剥製標本等は、学術的に価値のあるものを含んでいるだけでなく、中等教育史の観点から当時の理科教育を物語る教材として貴重です。本県の伝統校も小田高ほど多数の標本を所蔵していませんので、母校と同窓会がともに協力して保存・活用に取り組むことが大切であると思います。8月27日に小田高で昭和43年から平成6年まで26年間、地学を教えられた加藤克美先生(高3)にご来校いただき、大量の鉱物標本を診ていただきました。

また、8月24日には小田高理科の先生と剥製標本等の劣化防止策について検討しました。鉱物標本は樗友



鉱物標本を調査される加藤克美先生(高3)=右と両毛明史先生(高24)

会室（同窓会事務室）に保存し、一部を教材展示室に展示する予定です。剥製標本等は、絶滅種のトキ、キタタキ、チョウザメをクリーニングして教材展示室に展示し、液浸標本の保存液を補充したり、生物教材室に遮光カーテンを取り付けたりすることを検討しています。

校史展示施設設置校（同窓会）連絡会

この連絡会は、展示室を通して母校の発展に寄与するため、展示室を開設している小田高、横浜平沼高校、横須賀高校の同窓会が協力して24年4月に発足しました。第8回連絡会を6月17日に樫友会室（同窓会事務室）で開催し、県立高校の保存期間が満了した公文書の取扱いについて意見を交換しました。8月19日には県立公文書館を訪れ、説明をうかがい、施設を見学しました。

主な寄贈資料のご紹介

・松下選手のリオ五輪写真・ウエア等身大パネル（ミズノ長谷川順子マネージャー様・松下祐樹選手（高62）より）

・『生徒手帳』昭和9年、『相洋』第14、24、26、29号、昭和5、11年の国語・漢文・英語・地理・国史・唱歌の教科書等、計24冊（橋本恵美子様より）

・今泉六郎博士の肖像写真2種類（佐々木雅子様より）

・第10・11回小田高祭プログラム、小田高新聞第40号（下赤隆信様（高11）より）



今泉六郎博士。大正3年、ヘーゲル自筆本を含む洋書10冊を小田中へ寄贈した

・高26卒業アルバム（本多博光先生（高4）より）

・日本光学通年動員の写真、戦没卒業生の資料等（吉澤繁先生（高36）より）

・皆勤賞バックル（昭和32年）（内田温雄様（高9）より）
次の資料を探しています！

第1、6、8、9、12、15、16回小田高祭プログラム、平成15・16年度小田高祭プログラム、大正期と平成期の学習成績通知表など。問合せ先までご一報ください。

資料委員と校史ガイド募集中！

資料委員は毎月1回、日曜日の午前中に樫友会室（同窓会事務室）で資料に関する打合せ、資料の整理な



松下祐樹選手（高62）がリオ五輪で着用したウエア（常設展示）

| 卒回 | 著者 | 書名 |
|-----|--------|------------------------------|
| 高34 | 前多 秀彦 | つばさひろげて 井上灯美子・前多秀彦作品集Ⅱ |
| 高5 | 平倉 正 | 小田原史談 第247号・第248号 |
| 高13 | 柳川 明夫 | 街道の村・多古風土記 |
| 高14 | 村上 龍太郎 | 自伝小説 あるブンヤ伝（上） |
| 高11 | 大倉 富美雄 | デザイン力 デザイン心 |
| 高11 | 大倉 富美雄 | クリエイティブ<アーツ>コア 隠された領域を拓く |
| 高7 | 鈴木 隆介 | 地形の辞典 |
| 中39 | 小玉 利助 | 第十一詩集 春夏秋冬詩集、第十二詩集（一）縦横自由律句集 |
| 高15 | 岩越 豊雄 | 親子で楽しむ短歌・俳句 |
| 高15 | 岩越 豊雄 | 子供と声を出して読みたい『論語』百章 |
| 高11 | 石井 敬士 | 小田原史談 第249号・第250号 |
| 高26 | 井上 弘 | 戦争と民衆 第78号・第79号 |

※28年9月～29年8月寄贈分



航空写真（南東から撮影）（※）



「樫の葉文庫」の書架は高41卒業記念品です

樫の葉文庫

「樫の葉文庫」は卒業生、在校生、旧職員、現職員、その家族の著書を集めたものです。平成元年、小田高が県下で初めて開設しました。小説、雑誌、画集、教科書など多岐にわた

どを行っています。校史ガイドは公開時に説明を行います。ご関心ある方は問合せ先までご連絡ください。

問合せ先
P36同窓会連絡先参照
資料委員会委員長 飯野慎一（高31）

地域・職域同窓会の動き

第27回 小田中・小田高東京会

6月7日、四谷駅前「ブラザエフ」に86名が参集。進行は冲山(高14)、常盤(高43)両世話人。中戸川東工大准教授(高45)が「オートファジー! 出会いと展開」を講演。



講演する中戸川氏

湯河原地区 小田高会

毎年3月の最終日曜日は「湯河原温泉オレンジマラソン」が開催され、全国各地から3000人のランナーが温泉街を駆け抜けます。

今年には生憎の雨模様の天候でしたが、それでも沿道では大勢の町の人達が声援を送っていました。町が一つになって、この一大事業を盛り上げようとしていると思いました。

平成3年3月、衰退する観光地に何とか活力をという思いで始まったこの事業の発案は、当時の体育協会会長の水谷隆信(中40)氏と常盤頭義(高15)氏に依るもので、とりわけ行政や警察等との調整など多くの労力はそれは大変だったと聞かされてきました。

3月26日、オレンジマラソンの当日、その発案者でもある当会副会長の常盤頭義氏がマラソンの終了を待っていたように逝きました。

当会の副会長として長年様々な事に積極的に参加するとともに本校同窓会でも指導的役割を果たしてくれていただけに誠に残念です。享年72歳でした。ご冥福を祈ります。

さて、5月の総会で役員人事が諮られ、長年会長を務められた沓澤隆哉(高9)氏が勇退されました。

新体制は、会長に小澤稔(高16)、副会長に青木豊(高22)、室伏創之

事務局・蛭田(高15)

(高25)が選任されました。今後ともご指導宜しくお願いいたします。

会長 小澤稔(高16)

富士フィルム樫友会

富士フィルム樫友会の28年度総会は、例年通り4月に富士フィルム神奈川工場足柄サイトで開催しました。28年度の活動報告と29年度の運営・活動計画を決定しました。

総会では、77名の会員から投稿された原稿を中心に編集された会報「樫友」24号を出席者に配付しました。表紙は、氏家一政(高12)氏の「富士山」です。



「富士山」氏家さん撮影

28年度の活動は、ウォーキング(11月秦野七福神巡り)、料理同好会(7月料理教室から食道楽会へ衣替え)、ショットクラブ(11月1泊で「木曾路を訪ねて」の撮影)、俳句同好会(毎月1回南足柄市女性セン

ター)、ゴルフ同好会(10月富士グリーンヒルGC)、パソコン同好会でした。同好会活動は、会員以外の方の参加もあり、富士フィルム樫友会の枠を超えたものとなっています。

今総会での新しい試みとして、会員の方に講演をしてもらうこととし、田代昇(高2)氏に「和田河原の道路の愛称」につき第1回目の講演をお願いしました。

その後、「富士クラブ」にて懇親会を開催し、来賓の小田原高等学校教頭剣持雅章(高30)氏と樫友会会長小野康夫(高13)氏より、学校として、OB会としての新しい取り組みの説明の後、石井譲(中40)氏の乾杯で開始し、小澤義郎(中40)氏の中締めで、終始和やかな楽しい時を持つことができました。

事務局長 江木徹彦(高16)

横浜銀行

小田中・小田高会

当会は横浜銀行(出向者を含む)の行員と、そのOBからなる職域同窓会で、80名程の会員により構成されています。

今年度も10月14日から一泊二日の日程で、箱根湯本温泉「吉池旅館」において年次総会を開催し、今年の新入行員として母校から迎え入れた4名を含め、50名あまりの会員が参加いたしました。

総会の冒頭、横浜銀行執行役員東

京支店長の石川学前幹事長(高34)から、「この総会は、現役とOBで小田中・小田高および横浜銀行という所属を同じくするもの同士が、時代を超えて共通の文化を分かち合える絶好の機会」と、本会開催の意義について熱意を込めた挨拶があり、続いて、下山秀弥会長(高27)から、「年に一度、老いも若きも畳の上で一室に集合できる、貴重な交流の場である」との乾杯の挨拶により、総会が開会されました。

会が進むにつれ、出縄茂会員(高2)から、本会の歴史や行員時代のエピソード、また横浜銀行校友会会長である井上茂樹会員(高13)から、「ここに集う会員のネットワーク力を結集し、皆さんで横浜銀行を盛り上げていこう」との、力強いメッセージが贈られました。

最後に今回初のお披露目となった、新百合ヶ丘支店の久保田慶則会員(高56)による指導のもと、参加者全員で円陣を組んでの校歌斉唱を行い、相互の無事と来年の再会を約束し、総会は盛況裏に閉会いたしました。

榎野公夫(高28)

小田原市役所 榎和会

小田原市役所榎和会では、5月26日に「ホテルおかだ」を会場に29年度総会を開催しました。本会は、現在270名の会員を擁し、毎年開催する総会は、宿泊と市内日帰りで交

互に実施しており、今年は宿泊開催ということで100名余の参加がありました。

総会後の懇親会では、顧問である加藤憲一市長(高35)、来賓としてお招きした津田憲一郎同窓会長(高20)、反町聡之小田原高校校長、県庁小田高会剣持栄会長(高29)にご挨拶いただき、会員同士の親睦を深めました。

懇親会のメインイベントである大抽選会では、地域活性化の一助を目的に、小田原の地場産品、名産品を景品として多く選出し、大いに盛り上がりました。また、最後には参加者全員で輪になって肩を組み、校歌を熱唱しました。

毎回、総会には、若手職員からベテラン職員まで100名超の参加があり、世代を超えて職員が一つになつていきます。また、今年度は5名の新人が加入しました。

本会は、今後もより一層の交流によって絆を深め、一丸となって「自ら考え行動する職員」として、市民の皆様信頼されうる市政運営に尽力してまいります。

監事 田中佑子(高59)

県庁小田高会

県庁小田高会は、事務職、技術職、教職、警察職など様々な職種の方が会員で、現在、約250名です。会の主な行事は、毎年夏の総会です。本年は、7月12日に横浜市市内で

開催しました。

総会では、来賓としてお招きした小田原高等学校の津田憲一郎同窓会長(高20)、反町聡之中学校長、津田富士夫校内幹事長(高30)、小田原市役所榎和会座間亮会長(高31)のほか、会の顧問の県議会議員、県を退職された諸先輩方及び現役会員を合わせ、約40名の参加者を得て、懇親を深めました。

冒頭、和田久前会長(高28)の退職に伴い、剣持栄新会長(高29)が選出されました。剣持新会長からは、県庁小田高会を継続し、益々の発展に尽力したいと力強いあいさつがありました。

来賓の方々からは、県庁小田高会に寄せる期待や小田原高等学校の生徒たちの近況報告などのご祝辞をいただきました。

その後、懇談の時間となれば、あちらこちらで会員の輪ができ、年に1回のこの機会できし得ることのできない大変有意義な時間が過ぎました。

会の最後は、参加者全員で肩を組み、校歌、応援歌などを斉唱したのち、浦邊哲スポーツ局スポーツ振興担当部長(高35)が「ブレイブリー小田高」のエールを贈り、大変な盛り上がりの中でお開きとなりました。

総会は、様々な職域や年齢を超えた会員相互の貴重な情報交換の場です。これからも積極的に参加を呼びかけ、人と人との繋がりを強化しながら、県庁小田高会をさらに活性化

させるよう努力していきたいと考えています。

幹事長 高瀬正明(高34)

税理士榎友会

税理士榎友会の第24回定期総会が29年6月2日18時より小田原駅前「崑仙」に於いて開催されました。本年も新しい会員が1名入会されました。小島智子(高47)氏です。

本同窓会としても女性の会員が増えてきており、嬉しい限りです。前段では、定期総会が行われました。北村幸弘会長(高16)の挨拶に続き、事業報告、会計及び監査報告が行われ承認可決されました。

また、役員改選議案も承認され、新会長に小嶋章司(高19)氏が選任されました。北村前会長お疲れ様でした。

新会長の初任事は「小田高同窓会」と「がんばれ！小田高応援基金」への寄付議案です。これも無事承認されて、本年も心ばかりであります。寄付をさせて頂くことになりました。

総会後の懇親会では、反町校長先生、津田同窓会会長(高20)をお迎えし、最近の在校生の様子や、卒業生の進路状況をお話しいただきました。途中、先述の寄付の贈呈式も行われ、楽しい懇談のひとつを過ごしました。最後には、恒例の校歌、応援歌の合唱です。

毎回、歌詞カードを用意しておりますが、みなさん、それに頼ること

なく、元気に合唱し無事終了いたしました。

小柴一彦 (高33)



津田同窓会会長に寄付を渡す小嶋新会長(左)

第25回

八幡山を語る会

名月に合わせて、昨年の10月13日、小田原の「うおがし」で開催された。生物の原田郁生、英語の髙野照雄・長田勝海、数学の小嶋勲、社会科の藤田和雄・奥津裕の各先生方が集い、在職中の話の花が咲き、教え子達が何時までも忘れないで同期会に招いてくれて感謝しているとのこと。また、体育の富樫茂義、社会の大野扶自男、英語の小清水賢、数学の本多裕裕、地学に加藤克美、国語の山西明・吉田耕一、坂本規一の各先生方も健在で居られる由、何よりである。良き教え子に感謝。

世話人 奥津裕 (中44・高2)

藤田和雄

神奈川県警察 八幡会

皆さまこんにちは。当会は、神奈川県警察のOB及び現職の約60人で構成されており、会報「八幡山」には、今回で2回目の登場となります。どうぞよろしく願います。

昨年は私と同級生であり、共に神奈川県警八幡会幹事の露木克臣(高45)により投稿しましたが、露木から「順番で！」とのことなので、今回は、こうして私が寄稿させていただきます。一人でも多く、この素晴らしい会報誌に目を通していただきたく、自然体な内容でいきたいと思えます。

さて、私が約10年前、当会に入ってきたきっかけは、職場の上司であった片山真会長(高33)(当時は筆頭幹事でした)から「県警内に小田高のOB会があるぞ、是非、参加してみないか。」と声を掛けていただき出席しました。年に一度「だるま料理店」等で開催しており、昨年の12月には、小田原駅西口近くの「澤亭」において八幡会を開催しました。八幡会では、世代を超えた先輩・後輩と知り合うことができ、退職されている方からは貴重な体験談を聞くことができ、職場においては「小田高の〇〇です。」と言えば気持ちよく決裁を「ボン」(冗談ですよ)と押す&押していただけの関係になります。まさに風通しのよい職場になります。小田高最高です！最後に、県警内で、これをご覧に

なり、是非とも八幡会に！という方がいましたら遠慮なく連絡してください。

鶴島竜哉 (高45)

同期会の動き

中43・高1 160余人が黄泉へ旅立ち

中43・高1回卒業の私たち同期会は、6月4日午後1時から小田原駅前の「銀座ライオン小田原トザンイースト店」で開かれた。

この日の出席者は13人。出席人数としては、一番少ない年でもある。わりもない、来年は米寿を迎える年、老いた人たちだから。

会は、川口真男会長が音頭をとる。恒例にしたがい、鬼籍の人たちの冥福を祈り黙祷。黄泉に旅立った仲間も百六十人を越えている。淋しい限りである。

廣井敏男君の音頭でカンパシー。それぞれの好みの酒を酌み交わし、しばし談笑。約2時間後の午後3時、来年も同期会開催と東京オリンピックまで元気度過ごしましように誓い合い散会。

私たち同期会は昭和23年3月旧制中学最後の卒業生と24年3月新制高校最初の卒業生で結ばれている特殊な会でもある。しかも終戦を境に転校生が増え、昭和17年4月入学時200人だった生徒数も昭和23年卒業

時には280人に膨れ上がっている。

29年6月4日同期会出席者

安藤通保、家村卓介、川口真男、川添猛、小沢彰、佐々木淳、高橋佐年、髙田進一、野地敏雄、長谷川恵三、廣井敏男、廣澤璋一、山本治利

幹事 野地敏雄

戦中・戦後の6年間 中44・高2 八幡会

4月1日、例年のように小田原の料亭「柏又」で、総会・懇親会を開催。会員も86歳の高齢のため65名となり、出席者は25名であった。その後、幹事の古木弘久君の努力で、51名の近況報告と物故者の方々への学友の追悼文を内容とした第14号の「会員だより」が発行できたのは何よりであった。また、有志による月例会が開催されている。今後も幹事の村田道治、古木弘久、坂上功、奥津裕の連携プレーによって、年一回の総会・懇親会と「会員だより」の発行配付を続けたいと思っている。

また、卒業50周年記念誌「小田中から小田高へ戦中・戦後の八幡山」

(平成12年)と「続編」(平成13年)は、**杉本繁慈君、古木弘久君、奥津裕**が70名の証言を編集したもので、「写真でみる八幡山の青春譜」とともに、私たちの同期会活動の原点ともなっている。

最近、小学校などで、戦中・戦後の体験談を依頼されることが多くなった。空襲で機銃掃射を受けたり、小田原空襲で家を焼かれたりと、大変な時代を生き抜いてきたものである。

幹事長 奥津裕

5回生「10の指とくまれー」
小山の杉子が杉寿になった

5回生のみなさん。平成30年(2018)は卒業後75年になります。私たちはよわい83歳、この数字を文字に創作して「杉寿」と呼ばせてもらいます。戦時下の童謡「お山の杉の子」は、ミゴトに杉の寿を迎えることになりました。

そこで平成30年5月13日(日)、母校小田高で開かれる同窓会「樫友会」の総会に出席後、八幡山を下りて、街で久しぶりに5回生同期会の有志で会合をもちませんか。会場は賛同者の多い少ないかを見極めたいので幹事団が決めます。それを3月末までには、改めて案内状(開催時間と場所、会費)にしてお知らせしようと考えています。

この提案に賛同の方は、いまずぐに常任幹事(3人)のいずれかに電話、ハガキ、メールで賛意をお伝えください。「もう年だから…」などという情けない言い訳はゴメンです。ご返事の状態を幹事団が判断して、賛同者がある程度あるようでしたら案内状を改めて出すという手法です。少なればこの企画は中止。自然流会のかたちで3月下旬の通知は致しません。ご理解のほどお願いします。

なお、小田高へは、小田原駅(西口、新幹線口)からの箱根登山バス「いこの森(わんぱくらんど)」行きを使います。往復ともに利用方法、乗り降りのバス停、通過時刻などを3月の通知のときにご案内します。

常任幹事 飯田和男

穴倉正弘
田島邦典

八樫会(高8)だより

八樫会では年間行事として「春秋のゴルフコンペ」講演会「忘年会」を実施しています。第3回目の講演会を昨年12月15日「ようげつ」で開催しました。出席者50名。

『小田原の地震の記憶』—90年前の関東大震災の記憶を辿り今後の備えにしよう—講師は元神奈川県温泉地学研究所長、理学博士で八樫会同期生の平野富雄さん。

先ずレジュメで関東大震災の被害状況として小田原市立白山中学校にある「震災追憶碑・神奈川県知事山

縣次郎書」が紹介された。…湘南地方ハ震源二近ク其ノ惨害激甚新築後三年ノ本校々舎殆ド倒潰シ生徒児童ノ歿死者校ノ内外ニ於テ17名ヲ算セリ…平野さんは温泉や地震を専門的に研究する一方、県内各所に残されている震災に関する石碑の調査を個人的なライフワークにされている。

この他、関東大震災の被害状況を示す石碑の写真を数例示された。

私たちの住む神奈川県西部では、寛永10年「寛永小田原地震」以降は73年周期でM7クラスの大地震が起きていたといわれ、関東大震災から94年目に当たる今年はどうなるのか。地震は正と負の面があると強調された。地震というと「危険」「不安」という面ばかりが取りざたされるが、私たちはその恩恵も充分享受している。例えば、箱根では温泉が湧く。芦ノ湖や江の島といった風光明媚な景色が見られるのも、たび重なる地震によって形成されたものである。震災の予知は極めて難しいといわれるが、行政は防災を意識した都市計画を行っているか、住民は「いざ」の時の備えができているかを常に問うことが大切である。

—石碑には地域への、住民への、そして未来へのメッセージが込められている—と締めくくられました。その後、恒例の忘年会に移り賑やかな会になりました。

常任幹事 池田勉

「今年が高卒60周年だぞ！」「その上、樫九会30回目だ！」「明治33年、小田高前身の神奈川二中創立時の校舍・グラウンドが小田原駅の所にあった」

「その場所で、記念すべき樫九会を開こう！」「グラウンドのすぐそばに当たる所に、じんりきダイニングWABITOがある、あそこから、小田高樫林が見えるぞ」「樫友会総会が、今年から5月第2日曜日に変更だ」「樫九会は第3土曜日の20日に」「47名申込みがあったが、5日前に2名キャンセル、45名で申込んだが、当日ドタキャン2名、43名になってしまったし、80才近くになると、当日体調を崩す人も出て来るね」

「中間のご挨拶コーナーも、紋切型で面白くない」「それでは、誰でも喋べるスピーチコーナーにしよう」

「明大・オチケン？出身のヨシダ君なんか、面白い話をしてくれるんじゃない」「よし！それでいこう」

「校歌・応援歌斉唱コーナーだけど、高卒60周年だから、逍遙歌からスタートしよう」

「天が下しるから、肩を組んでのコチャエ節、そして校歌を歌ってお開きにしよう」

「来年は5月19日の予定だね」

「場所もここでいいのでは——」

「30年5月19日、12時から押えました」

「(じんりきダイニングWABITOの店長登場)」

「……」(幹事一同)

高9同期会(樫九会)は
高卒60周年!

撮影 小泉孝之



29年5月20日 第30回樫九会同窓会 「じんりき」にて

(追伸) 創立時の小田高の地図を、速やかに用意して下さった、樫友会資料委員会の皆さまに感謝、感謝!

奥津和彦

高16回同期会

今年(2020年)東京オリンピック開催999日前、10月29日正午から「湯本富士屋ホテル」で開催された。台風22号接近にもかかわらず、参加者は73名。幹事の尽力で参加者は前年を上回った。3年1・2組が持ち回り当番で幹事を努めた。全員で記念撮影後、本多孝正君の司会で進行。開会宣言後、前年の同期会開催以降に亡くなられた遠山昌友、井上清治、前田(岩本)幸子、山田善雄、

高橋宏武、長谷川(粕谷) 孝敏の各君に黙祷を捧げた。寂しいことに62名の同期生が鬼籍に入った。

総合幹事の辻村昌美から雨にも負けず風にも負けず参集された皆様にお礼と来年の参加の期待も込めて熱く語りかけた。次いで校歌斉唱と乾杯。各テーブルで賑やかに談笑。宮崎清君の手締でお開きとなり、1次会の熱気に包まれたまま隣室に移り、本多孝正君の司会で2次会も盛会のうちに閉会した。



29年10月29日 於箱根湯本富士屋ホテル

総合幹事 辻村昌美

感じますが、来年は4年に一度のサッカーワールドカップの年。昭和44年3月卒業の私たち高21回生の同期会開催時期でもありません。しかも、卒業してからちょうど50年。歴史の授業でも実感していなかった半世紀を経過しました。

節目のこの時に高21回生第5回同期会を計画しています。◆平成30年10月6日(土) ◆お堀端コンベンションホールで、午後4時開宴の予定です。詳しくは8月を目安にご案内いたしますが、今からご予定をお願いいたします。

多くの同期の皆さんのご参加をお待ちいたします。 幹事長 小瀬純一

高57回同期会
「小田原高校2005年卒業生同窓会」
「30歳だよ!全員集合!」
を開催しました

2017年2月12日、報徳二宮神社「報徳会館」にて学年全体の同窓会を行いました。全体の約4割弱の145名の同期が参加する、とても賑やかな会となりました。私たちの学年は20歳から5年ごとに同窓会を開催しているので、次は2022年の予定です。

次回もたくさん仲間が参加することを楽しみにしています!

幹事 横山優紀

高21回 卒業半世紀 同期会を開催します
以前ほど熱が入っていないように

OB会の動き

硬式テニス部 卒業生の会活動紹介

硬式テニス部卒業生の会は、現在登録会員が約30名で運営しています。現役生の部活動サポート、小田原リーグ戦の参加、会員の練習会等を通じて親睦を図っています。

現役生の希望者は、小田原テニス協会主催の春・秋講習会へ参加し、プロコーチの指導を受けて、技術向上を目指しています。春には、OB・現役合同の練習会を通じて、相互交流を行います。小田原リーグ戦は、男子5部で活動中です。現役生からシニアまで、幅広いメンバーで構成しています。地元小田原の方から、横浜在住の方までが参加しています。練習会は、月1回の週末に、小田原高校隣の城山庭球場で実施しています。会員は、男性が中心ですが、最近は女性会員も増えて、一緒に練習会に参加して頂くなど活動をしています。

テニスを通じてOB・OG同士や現役生との交流も増やしていき、楽しく明るく開放的な会に育てていくように計画を立てています。小田高テニス部OB・OGはもとより、卒業した方でテニスをされている方など、ご興味を持たれた方は、ご連絡いただき練習会等にご参加頂けたらと思います。

連絡は、練習会担当の幹事の遠藤 繁仁(高22)へお願いいたします。

足立久雄(高23)

ソフトテニス部OB会 活動紹介

ソフトテニス部OB会「遠藤郁夫会長(高13)」では、7月22日「おだわら市民交流センターUMECO」にて、29年度の総会を開催しました。総会では、事業報告・会計報告、事業計画・予算案などの議題が審議・承認されたほか、総会後の懇親会では、現役の活躍状況や支援活動が話題となるなど、楽しいひと時を過ごしました。

また、OB会では、今年度も現役に対して練習用ボールの寄贈や関東大会・インターハイ出場祝金を贈呈するなど、支援活動を行いました。

現役の活躍状況は、同窓会会報「八幡山」などでもご承知のとおり、28年度は女子が団体で関東大会に出場したほか、男女各1ペアが関東・インターハイに、また、女子の栗野選手は団体にも出場しました。

29年度も女子3ペアが関東大会に、うち1ペアはインターハイ出場を果たすなど、その活躍を私たちOBも大変嬉しく思っています。

OB会の目的は、現役の支援と会員相互の親睦ですが、その活動は会員の皆様の会費により運営されています。

今後OB会の活動にご理解とご協力をいただき、多くの会員の皆様が多様な形でOB会の活動に関わっていただくことを願っています。

幹事長 柴田正光(高23)

第9回檉泳会(水泳部OB会)総会開催

29年5月14日ホームカミングデー開催とともに、小田原高校選択教室2において、8名の参加を得て懇親会を深めました。

総会では、決算報告、予算計画、役員交代、今後のOB会活性化策等について有意義な話し合いを行い、新たに着任した角田岳人会長(高43)と星野隆之副会長(高44)より挨拶をいただきました。前年度のマスターズ大会(競泳)参戦の報告があり、特に参加人数を増やす湘南マスターズ大会(「平塚総合体育館温水プール」28年11月13日開催)に13名、日本マスターズ水泳短水路大会(熱海市「マリンスパあたみ」29年5月26日・28日開催)に6名の参加がありました。今年11月5日の湘南マスターズ大会と来年の熱海大会(5月開催)へ、できるだけ多くのOB・OGの参加に力を入れていく方針を引き続き確認しました。最後に、校

舎の屋上にあるプールサイドを見学するとともに集合写真を撮りました。



無事に総会を終えました！

総会終了後の懇親会では、先輩方の近況や話題でもあるOB会の活性化等話し、楽しく時間を過ごすことができました。

来年の総会・懇親会もホームカミングデーに開催します。マスターズ大会へも随時参加します。ぜひ、先輩・同期・後輩を誘い合って参加してください。水泳会ホームページやフェイスブックに詳しい活動内容が載っていますのでご覧ください。

会計 本多直司 (高48)

水泳会連絡先

メールアドレス

webmaster@keneikai.org

ホームページアドレス

http://www.keneikai.org/

バスケットボール部OB会 小田高富樫杯

小田原アリーナにて、第31回小田高富樫杯バスケットボール大会を開

催しました。小田高で長い間、男子バスケットボール部の指導をされた富樫先生の教え子たちが小田高に集まり、練習試合で交流をしたのがきっかけとなり、現在は男女、年代、カテゴリーを問わず、バスケットボール部OBが指導するチームが集まって交流しています。

今年度はミニバス、中学、高校の計30チームが集まり、練習試合を行った他、カテゴリーを越えた交流戦や、年代ごとの混成チームでのゲームを行うなど、他には例を見ない規模の大会となりました。



小田原アリーナにて

OBの2世が選手として出場したり、この大会に出場した選手が指導者となったりと様々なつながりも出てきています。

現役の活躍を願うと共に、来年度以降もこの大会をさらに発展させていきたいと思えます。

松澤俊介 (高45)

会員通信

29年度同窓会総会への返信等から (概要)

*原則として文面をそのまま掲載しました。なお、住所変更やご逝去のお知らせ・生前のご友誼へのお礼、同窓会への事務連絡、ご挨拶のみや役員への労い、掲載にふさわしくないと判断したものは掲載しておりません。



ご冥福を
お祈りいたします

訃報





29年度 事業計画

1 活動目標

(1)同窓会事業への会員参加の促進
平成28年度に新たに取組んだ事業の一層の充実を図るとともに、継続事業を着実に推進して、会員の参加を呼び掛けていく。

(2)同窓会名簿の作成
5年ごとに作成してきた同窓会名簿について、「平成30年版」を作成する。

2 委員会の活動

各委員会の事業計画については省略します。詳細についてはホームページをご覧ください。

3 その他

引き続き、各種役員に多くの女性が参画するように呼びかけていく。

**補助金をもらって
同期会を始めよう!**

同窓会が発展するためには、同期会の結末・活性化が不可欠です。そこで、同窓会では、各卒業期が新たな同期会を結成する場合には、5万

円を限度として、補助金を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

補助金の交付を希望される場合は、同窓会ホームページの同期会結成補助金交付要領にしたがって、申請書をダウンロードしてお使いください。申込書および必要書類を添付してP36同窓会連絡先宛てに郵送してください。

また、各同期会において、同期の住所録一覧(Excelファイル等)が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先PCメールアドレスを追記いただくか、または、極友会(kenyukai@odakog.org)宛てにメール連絡いただければ、対応いたします。

名義後援の 制度があります!

同窓会では、名義後援の承認手続きに関する要綱を制定し、名義後援の制度があります。

名義後援とは、会員である個人又は各種団体等が実施する事業等に対して、同窓会が経費等の負担をせず、単に後援の名義を使用させることをいいます。

名義後援を希望される場合には、P36同窓会連絡先宛てにお問合せください。

会員名簿 ご購入のお願い

このたび、5年ごとに発行して参りました同窓会会員名簿について、30年版を発行しました。

個人情報保護の趣旨から、名簿発行に慎重な声も聞かれますが、同窓会活動を今後さらに充実、発展させていくためには、会員相互で連絡をとりあい、親睦を深めることが大切であり、そのためには会員名簿の定期的な発行は必要不可欠なものです。そこで今回の同窓会会員名簿の発行に当たっては、個人情報の慎重な取扱いを最優先課題として、名簿作成の事務処理から印刷・発送は、前回まで6回にわたり実績があります(株)サラトに正式に委託して行いました。

会員名簿の発行は皆様のご協力に支えられております。ぜひ、1冊お手にとりいただき、今回の名簿が母校への郷愁を駆り立て、会員相互の懸け橋となり、同窓会活動の活性化につながってまいりますよう願っております。

名簿価格:4,300円(送料・税込)

お申込み方法は、郵便で同窓会私書箱宛にご連絡くださるか、ホームページにおける、お問い合わせのメールフォームにてご連絡ください。折り返し、申込用紙をお送りします。(各あて先は36頁参照)

なお、お申込みの際には、免許証の写し等本人確認のための書類が必要ですよ。



(単位:円)

| 平成 29 年度予算 | | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------------------|
| | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 平成29.4.1 平成30.3.31 |
| [収入の部] | | | |
| 入会金 | 1,605,000 | 1,595,000 | |
| 年会費 | 5,567,000 | 5,439,000 | |
| 寄附金 | 50,000 | 50,000 | |
| 繰越金 | 932,087 | 647,274 | |
| 雑収入 | 510,913 | 462,726 | |
| 合 計 | 8,665,000 | 8,194,000 | |
| [支出の部] | | | |
| 事務局費 | 1,020,000 | 920,000 | |
| 事務局幹事費 | 270,000 | 230,000 | |
| 事務局会議費 | 150,000 | 130,000 | |
| 常任幹事費 | 160,000 | 160,000 | |
| 校内幹事費 | 10,000 | 10,000 | |
| 連絡費 | 20,000 | 20,000 | |
| 渉外費 | 90,000 | 90,000 | |
| 消耗品費 | 90,000 | 60,000 | |
| 雑費 | 230,000 | 220,000 | |
| 事業費 | 6,455,000 | 6,264,000 | |
| OHCD・総会費 | 700,000 | 600,000 | |
| 入会記念品費 | 440,000 | 440,000 | |
| 総務委員会費 | 50,000 | 240,000 | |
| 交流委員会費 | 300,000 | 250,000 | |
| 広報委員会費 | 50,000 | 50,000 | |
| 資料委員会費 | 50,000 | 50,000 | |
| 校歌祭委員会費 | 500,000 | 500,000 | |
| 会報発行費 | 3,397,000 | 3,397,000 | |
| 広報費 | 190,000 | 130,000 | |
| 地域職域同窓会費 | 258,000 | 227,000 | |
| 同期会結成補助費 | 150,000 | 150,000 | |
| 校史展示室費 | 370,000 | 230,000 | |
| 教養費 | 493,000 | 453,000 | |
| 積立金 | 400,000 | 300,000 | |
| 予備費 | 297,000 | 257,000 | |
| 合 計 | 8,665,000 | 8,194,000 | |

(単位:円)

| 平成 28 年度決算 | | | |
|---------------|-----------|-----------|-----------------------|
| | 予算額 | 実績額 | 平成28.4.1 平成29.3.31 |
| [収入の部] | | | |
| 入会金 | 1,595,000 | 1,590,000 | |
| 年会費 | 5,439,000 | 5,520,000 | |
| 寄附金 | 50,000 | 234,000 | |
| 繰越金 | 647,274 | 647,274 | |
| 雑収入 | 462,726 | 767,916 | |
| 合 計 | 8,194,000 | 8,759,190 | |
| [支出の部] | | | |
| 事務局費 | 920,000 | 843,302 | |
| 事務局幹事費 | 230,000 | 255,283 | |
| 事務局会議費 | 130,000 | 136,752 | |
| 常任幹事費 | 160,000 | 99,147 | |
| 校内幹事費 | 10,000 | 0 | |
| 連絡費 | 20,000 | 10,590 | |
| 渉外費 | 90,000 | 26,000 | |
| 消耗品費 | 60,000 | 89,974 | |
| 雑費 | 220,000 | 225,556 | |
| 事業費 | 6,264,000 | 6,190,713 | |
| OHCD・総会費 | 600,000 | 962,145 | |
| 入会記念品費 | 440,000 | 433,624 | |
| 総務委員会費 | 240,000 | 230,040 | |
| 交流委員会費 | 250,000 | 210,526 | |
| 広報委員会費 | 50,000 | 38,900 | |
| 資料委員会費 | 50,000 | 54,698 | |
| 校歌祭委員会費 | 500,000 | 491,607 | |
| 会報発行費 | 3,397,000 | 3,351,413 | |
| 広報費 | 130,000 | 128,402 | |
| 地域職域同窓会費 | 227,000 | 214,000 | |
| 同期会結成補助費 | 150,000 | 50,000 | |
| 校史展示室費 | 230,000 | 25,358 | |
| 教養費 | 453,000 | 424,616 | |
| 積立金 | 300,000 | 300,000 | |
| 予備費 | 257,000 | 68,472 | |
| 合 計 | 8,194,000 | 7,827,103 | |

資産の状況 (平成29.3.31現在) (単位:円)

| | |
|---------------------|-------------------|
| 1 基本金 | 22,910,979 |
| (1)横浜銀行(積立定期預金) | 11,527,962 |
| (2)さがみ信用金庫(積立定期預金)1 | 11,833,017 |
| 2 記念事業積立金 | 1,990,373 |
| (1)横浜銀行(積立定期預金) | 1,990,373 |
| 3 名簿会計積立金 | 1,162,484 |
| (1)さがみ信用金庫(積立定期預金)1 | 1,162,484 |
| 4 一般会計保管金 | 14,591,405 |
| (1)横浜銀行(入会金・年会費等) | 3,657,188 |
| (2)ゆうちょ銀行(年会費等) | 10,002,130 |
| (3)郵便局振替口座(年会費等) | 907,198 |
| (4)小口現金 | 24,889 |
| 資産計 | 40,655,241 |

*総会で報告された予算・決算書をお知らせいたします。

詳細はホームページをご覧ください。

購入のお誘い
創立百周年記念史
・小田高絵葉書

○創立百周年記念史のご案内

母校は平成22(2010)年に創立百周年を迎えました。創立百周年記念事業の一環として、24年3月に創立百周年記念史『小田原高校百周年から十年の歩み』を発刊しました。B5判、縦書、二段組、316ページです。実費1,000円(送料別)にて販売しておりますので、私書箱宛、または同窓会ホームページからご注文ください。お支払い方法は書籍に同封してお送りいたします。



内容

- 口 絵(カラー9ページ)
- 序 章 豊かな実りを求めて
- 第一章 再編統合と単位制への移行
- 第二章 学力向上進学重点校と教育制度の変革
- 第三章 新校舎落成と新グラウンド完成
- 第四章 創立百周年記念事業
- 第五章 生徒会
- 第六章 PTA
- 第七章 同窓会

資料集
年表

○小田高絵葉書

母校の絵葉書を作りました。校訓扁額、榿林(セピア)、鎮遠の鐘、創立五十周年記念図書館、旧体育館、初代榿葉館、上庭の木造小屋(セピア)、第四代校舎、航空写真(西から撮影)、航空写真(南東から撮影)、航空写真(北東から撮影)があり、本号の各所に掲載しています。1枚100円(送料別)。ご購入はP36同窓会連絡先宛てにご連絡ください。本号の各所に掲載しています。キャプションに※が付いています。

全国レベルで活躍する卒業生をお知らせください!

資料委員会では数年来、全国レベルで活躍する卒業生を集めた「卒業生の活躍」というリストを作り、情報をいただきますと運営委員会で承認を得て、リストを常時更新しております。

「卒業生の活躍」は、毎年3月に新入会員(3年生)へ配付する小冊子「榿友会」に掲載したり、小田高祭で同窓会企画として展示したりして、多数の生徒、保護者、卒業生から高いご関心をいただいています。そこで「卒業生の活躍」をより充実させるため、それぞれの同期会、地域・職域等同窓会、部OB会、そして個人のみならず、広く情報をご提供いただきたく存じます。ぜひ同窓会事務局(P36同窓会連絡先)

まで、お知らせくださいますようお願い申し上げます。

第30号「八幡山」の原稿募集と投稿先のお知らせ

同期会、地域同窓会、職域同窓会、運動部や文化部などのOB会など、また、同窓生による事業や行事の開催の様子や開催予定の告知など同窓生の仲間にお知らせしたい記事の投稿をお待ちしています。

◆投稿先

メールの場合は、kaiho@odako.org宛てにお送りください。
 FAX、郵送(私書箱)による場合は、P36同窓会連絡先宛て投稿をお願いします。

◆提出期限

30年9月1日
 原稿が遅くなる場合は一報くだされば、予め余白を用意いたしますので掲載は可能です。

◆「八幡山」をホームページで見ることが出来ます。

25号から会員通信、訃報、会費・寄付金納入者リストを除き、掲載された内容を小田高同窓会ホームページから閲覧できます。

◆個人情報にご注意ください

会報や同窓会ホームページに原稿を掲載する際、個人が特定できる氏名や写真等が含まれる原稿をご投稿いただく際は、必ずご本人の事前の承認を受けていただきますようお願いいたします。



第三代校舎(※)

第30号「八幡山」に掲載する広告を募集します!!

同窓会では同窓会事業の財源を確保するため、会報に広告を掲載しています。当会報は、学区内に限らず、全国の同窓会会員に配付しており、小田原高校卒業生はもとよりご家族の方にもお読みいただいています。広告の掲載を希望される方は、P36同窓会連絡先までお申出ください。

◆発行時期

30年12月中旬(予定)

◆発行部数

約23,500部(予定)

◆配付先

同窓会会員 約22,000部
 在校生及び新入生約1,000部
 教員・他校同窓会等 約500部

◆広告料(寸法はおおよそです。)

①横 8.8cm×縦 4.5cm
 15,000円
 (1頁5段のうちの最下段の半分)

- ② 横17.8cm×縦4.5cm
30,000円
(1頁5段のうちの最下段)
- ③ 横17.8cm×縦9.6cm
60,000円
(1頁5段のうちの下2段)

広告料のお支払いは、お申込をいただいた後、同窓会から振込口座をご連絡しますので、それによりお振込みください。なお、その際の振込手数料は、広告主様で負担いただきますようお願いいたします。

◆広告原稿

広告の原稿(デザインを含む)は、申込の際、広告主様ご自身でご用意ください。掲載時は白黒(グレイ可)となります。

◆募集の締切り

締切りは30年7月31日とさせていただきます。

広告原稿の作成が間に合わない場合は、遅くとも9月末までにお送りください。申込方法は、同窓会ホームページをご覧ください。なお、会報の趣旨や体裁からお申込数が多数となる場合はお断りすることもありますので、ご承知おきください。

会費は同窓会活動の源泉です!

◆同窓会は会費で運営されています。

この会報「八幡山」は、会員全員に送られています。発送部数は、約2万2千部になります。

また、会費は、ホームカミングデー、校歌祭、校史展示室の運営

運動部等生徒の激励、新入会員記念品の贈呈など、さまざまな会の運営の源泉になっています。

◆納入はコンビニ・郵便局などで
年会費 3千円。ただし、卒業後1年目(19歳)は納入を免除し、卒業後2年目(20歳)から6年目(24歳)までは、千円です。

年会費は、この会報に同封されている払込取扱票をもってコンビニまたは郵便局で納入いただくか、次の要領によりお振込みください。

★ゆうちょ銀行を利用

- ・口座番号0024014163525
- ・口座名 神奈川県立小田原高等学校 同窓会

★銀行・信金から振込

- ・銀行名 ゆうちょ銀行(9900)
- ・支店 029(ゼロニキユウ)
- ・口座番号 当座 0063525
- ・加入者名(カナ) カナガワケンリツオダワラコウトウガッコウドウンウカイ

★ダイレクトバンキングを利用



旧体育館(※)



至誠無息

パソコンや携帯電話などを操作して振込む方法もあります。

この方法は銀行などの支店に行かなくてもよく、いつでも利用でき、手数料が支店利用時よりも安くなるなどのメリットがあります。

◆なお、ご依頼人・通信欄において、次の例の通り、ご氏名のあとに卒業回数を必ず記入願います。

- ・払込用紙の場合
小田高 太郎 高45
- ・ATM、ダイレクトバンキングの場合
オダコウ タロウ コウ45

但し、ゆうちょダイレクトの場合、ご依頼人番号に卒業回数を記入願います(中学卒業生の場合は先頭に0(ゼロ)をつけてください)

◆終身会費が人気です

60歳以上の方は、年齢に応じた金額(60歳は5万円で1歳上がるごとにマイナス3千円。70歳以上は一律2万円)を納入することができます。

ご利用には、「郵便局の払込取扱票」が必要です。詳しくは同封の「終身会費制度のご案内」をご覧ください。

小田高応援基金からの報告

「がんばれ!小田高」応援基金は本年度で10年目の節目を迎えます。昨年度までに寄付いただいた方はのべ千百人・32団体に及びます。

毎年ご寄付くださる方や、同期会からのご寄付をいただくこともあり、同窓生の皆様のご芳志に運営委員会一同心より御礼申し上げます。

最近の支援の内容は、進路学習会において卒業生を講師として依頼する経費および学校説明会用クリアファイルの作成等です。

◆基金への寄付は、同窓生、PTA会員、趣旨に賛同される一般の方を対象に受付けています。

◆寄付金の額は、一口千円で何口でも結構です。

◆寄付のお申し込み方法は、同封の郵便払込取扱票(払込手数料は基金負担)でお願いします。また次の口座への振込みも可能です。その際の振込手数料は、恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

【ゆうちょ銀行(コード9900)】

小田原支店(029)預金種目 当座
口座名「がんばれ!小田高」応援基金
口座番号0025018181599

【他行から振込む場合】

ゆうちょ銀行 029(ゼロニキユウ)支店 当座預金
口座番号 0081599
口座名「ガンバレオダコウオウエンキーン」

28年度会計報告

| 収入の部(円) | | 支出の部(円) | |
|---------|-----------|---------------|-------------|
| 繰越金 | 3,096,590 | 施設整備 | 1件 268,704 |
| 寄付(98名) | 496,000 | 学習設備備品 | 1件 35,856 |
| 寄付(6団体) | 227,264 | 学校説明会 | 4件 298,660 |
| 銀行預金利息 | 10 | 運営費(郵便振替経費ほか) | 43件 36,922 |
| | | その他 | 3件 22,790 |
| 計 | 3,819,864 | 計 | 77件 662,932 |

差引の部(円) 3,819,864 - 662,932 = 3,156,932



航空写真(北東から撮影)(※)

学習や部活に全力で取り組んでいる小田高生を支援するため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

寄付金・会費納入状況 (28年10月から29年9月まで)

| 卒年 | 会員数 | 亡 | 不明者 | 有効会員数 | 入金人数 | 入金額 | 入金率 | 卒年 | 会員数 | 亡 | 不明者 | 有効会員数 | 入金人数 | 入金額 | 入金率 |
|---------------------|-------|-------|-----|-------|------|---------|--------|------------------|--------|-------|-------|--------|-------|-----------|--------|
| 旧教職員 | 880 | 235 | 286 | 359 | 6 | 25,000 | 1.67% | 高11回(昭和31年~34年) | 389 | 92 | 21 | 276 | 58 | 174,000 | 21.01% |
| 小計 | 880 | 235 | 286 | 359 | 6 | 25,000 | 1.67% | 高12回(昭和32年~35年) | 396 | 57 | 39 | 300 | 44 | 132,000 | 14.67% |
| 中学校 | | | | | | | | 高13回(昭和33年~36年) | 391 | 53 | 32 | 306 | 57 | 171,000 | 18.63% |
| 中1回(明治34年~39年) | 42 | 40 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高14回(昭和34年~37年) | 408 | 49 | 55 | 304 | 42 | 126,000 | 13.82% |
| 中2回(明治35年~40年) | 41 | 37 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高15回(昭和35年~38年) | 379 | 50 | 52 | 277 | 34 | 102,000 | 12.27% |
| 中3回(明治36年~41年) | 41 | 38 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高16回(昭和36年~39年) | 386 | 58 | 26 | 302 | 34 | 102,000 | 11.26% |
| 中4回(明治37年~42年) | 41 | 38 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高17回(昭和37年~40年) | 405 | 49 | 56 | 300 | 39 | 117,000 | 13.00% |
| 中5回(明治38年~43年) | 36 | 30 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高18回(昭和38年~41年) | 528 | 52 | 85 | 391 | 44 | 134,000 | 11.25% |
| 中6回(明治39年~44年) | 52 | 39 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高19回(昭和39年~42年) | 472 | 37 | 60 | 375 | 46 | 140,000 | 12.27% |
| 中7回(明治40年~45年) | 25 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高20回(昭和40年~43年) | 485 | 27 | 91 | 367 | 48 | 144,000 | 13.08% |
| 中8回(明治41年~大正2年) | 56 | 44 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高21回(昭和41年~44年) | 455 | 38 | 51 | 366 | 34 | 102,000 | 9.29% |
| 中9回(明治42年~大正3年) | 71 | 66 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高22回(昭和42年~45年) | 435 | 37 | 67 | 331 | 38 | 114,000 | 11.48% |
| 中10回(明治43年~大正4年) | 57 | 52 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高23回(昭和43年~46年) | 439 | 23 | 66 | 350 | 29 | 87,000 | 8.29% |
| 中11回(明治44年~大正5年) | 59 | 47 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高24回(昭和44年~47年) | 429 | 12 | 105 | 312 | 28 | 84,000 | 8.97% |
| 中12回(明治45年~大正6年) | 63 | 54 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高25回(昭和45年~48年) | 414 | 12 | 89 | 313 | 26 | 78,000 | 8.31% |
| 中13回(大正2年~7年) | 59 | 55 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高26回(昭和46年~49年) | 411 | 15 | 118 | 278 | 33 | 99,000 | 11.87% |
| 中14回(大正3年~8年) | 84 | 75 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高27回(昭和47年~50年) | 407 | 21 | 66 | 320 | 32 | 96,000 | 10.00% |
| 中15回(大正4年~9年) | 75 | 58 | 16 | 1 | 0 | 0 | 0.00% | 高28回(昭和48年~51年) | 405 | 13 | 79 | 313 | 25 | 75,000 | 7.99% |
| 中16回(大正5年~10年) | 95 | 89 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高29回(昭和49年~52年) | 452 | 16 | 89 | 347 | 38 | 114,000 | 10.95% |
| 中17回(大正6年~11年) | 80 | 73 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高30回(昭和50年~53年) | 445 | 10 | 135 | 300 | 29 | 93,000 | 9.67% |
| 中18回(大正7年~12年) | 94 | 77 | 16 | 1 | 0 | 0 | 0.00% | 高31回(昭和51年~54年) | 445 | 4 | 125 | 316 | 38 | 114,000 | 12.03% |
| 中19回(大正8年~13年) | 103 | 92 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高32回(昭和52年~55年) | 452 | 10 | 70 | 372 | 73 | 222,000 | 19.62% |
| 中20回(大正9年~14年) | 113 | 99 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高33回(昭和53年~56年) | 445 | 11 | 75 | 359 | 25 | 75,000 | 6.96% |
| 中21回(大正10年~15年) | 108 | 96 | 11 | 1 | 0 | 0 | 0.00% | 高34回(昭和54年~57年) | 452 | 7 | 59 | 386 | 26 | 78,000 | 6.74% |
| 中22回(大正11年~昭和2年) | 114 | 107 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0.00% | 高35回(昭和55年~58年) | 455 | 5 | 116 | 334 | 24 | 72,000 | 7.19% |
| 中23回(大正12年~昭和3年) | 117 | 102 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高36回(昭和56年~59年) | 445 | 9 | 88 | 348 | 17 | 51,000 | 4.89% |
| 中24回(大正13年~昭和4年) | 110 | 97 | 11 | 2 | 0 | 0 | 0.00% | 高37回(昭和57年~60年) | 403 | 6 | 115 | 282 | 17 | 51,000 | 6.03% |
| 中25回(大正14年~昭和5年) | 125 | 108 | 14 | 3 | 0 | 0 | 0.00% | 高38回(昭和58年~61年) | 454 | 9 | 124 | 321 | 11 | 33,000 | 3.43% |
| 中26回(大正15年~昭和6年) | 109 | 105 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0.00% | 高39回(昭和59年~62年) | 465 | 5 | 146 | 314 | 21 | 66,000 | 6.69% |
| 中27回(昭和2年~7年) | 152 | 146 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0.00% | 高40回(昭和60年~63年) | 456 | 2 | 156 | 298 | 15 | 45,000 | 5.03% |
| 中28回(昭和3年~8年) | 153 | 139 | 8 | 6 | 0 | 0 | 0.00% | 高41回(昭和61年~平成元年) | 469 | 8 | 101 | 360 | 17 | 51,000 | 4.72% |
| 中29回(昭和4年~9年) | 143 | 125 | 12 | 6 | 0 | 0 | 0.00% | 高42回(昭和62年~平成2年) | 513 | 2 | 116 | 395 | 12 | 36,000 | 3.04% |
| 中30回(昭和5年~10年) | 155 | 131 | 18 | 6 | 0 | 0 | 0.00% | 高43回(昭和63年~平成3年) | 477 | 2 | 117 | 358 | 8 | 24,000 | 2.23% |
| 中31回(昭和6年~11年) | 164 | 142 | 13 | 9 | 0 | 0 | 0.00% | 高44回(平成元年~4年) | 514 | 3 | 134 | 377 | 18 | 54,000 | 4.77% |
| 中32回(昭和7年~12年) | 150 | 128 | 13 | 9 | 0 | 0 | 0.00% | 高45回(平成2年~5年) | 456 | 4 | 130 | 322 | 10 | 33,000 | 3.11% |
| 中33回(昭和8年~13年) | 173 | 150 | 10 | 13 | 0 | 0 | 0.00% | 高46回(平成3年~6年) | 442 | 4 | 122 | 316 | 8 | 24,000 | 2.53% |
| 中34回(昭和9年~14年) | 168 | 143 | 7 | 18 | 2 | 6,000 | 11.11% | 高47回(平成4年~7年) | 439 | 2 | 110 | 327 | 3 | 9,000 | 0.92% |
| 中35回(昭和10年~15年) | 162 | 127 | 17 | 18 | 1 | 5,000 | 5.56% | 高48回(平成5年~8年) | 427 | 2 | 127 | 298 | 10 | 30,000 | 3.36% |
| 中36回(昭和11年~16年) | 175 | 137 | 10 | 28 | 1 | 3,000 | 3.57% | 高49回(平成6年~9年) | 414 | 0 | 114 | 300 | 8 | 24,000 | 2.67% |
| 中37回(昭和12年~17年) | 177 | 138 | 14 | 25 | 1 | 3,000 | 4.00% | 高50回(平成7年~10年) | 398 | 3 | 112 | 283 | 5 | 15,000 | 1.77% |
| 中38回(昭和13年~18年) | 184 | 119 | 13 | 52 | 9 | 27,000 | 17.31% | 高51回(平成8年~11年) | 391 | 1 | 110 | 280 | 6 | 18,000 | 2.14% |
| 中39回(昭和14年~19年) | 188 | 122 | 18 | 48 | 5 | 15,000 | 10.42% | 高52回(平成9年~12年) | 395 | 1 | 94 | 300 | 4 | 12,000 | 1.33% |
| 中40回(昭和15年~20年)5年制 | 197 | 129 | 12 | 56 | 4 | 12,000 | 7.14% | 高53回(平成10年~13年) | 356 | 0 | 98 | 258 | 8 | 24,000 | 3.10% |
| 中40回(昭和16年~20年)4年制 | 207 | 127 | 11 | 69 | 3 | 9,000 | 4.35% | 高54回(平成11年~14年) | 357 | 2 | 87 | 268 | 3 | 9,000 | 1.12% |
| 中41回(昭和17年~21年)中42回 | 97 | 58 | 15 | 24 | 3 | 9,000 | 12.50% | 高55回(平成12年~15年) | 358 | 0 | 77 | 281 | 8 | 24,000 | 2.85% |
| 中42回(昭和17年~22年) | 141 | 83 | 15 | 43 | 3 | 9,000 | 6.98% | 高56回(平成13年~16年) | 317 | 0 | 66 | 251 | 3 | 9,000 | 1.20% |
| 中43回(昭和18年~23年)高1回 | 176 | 81 | 31 | 64 | 4 | 12,000 | 6.25% | 高57回(平成14年~17年) | 395 | 3 | 82 | 310 | 4 | 12,000 | 1.29% |
| 中44回(昭和19年~23年)高2回 | 63 | 27 | 16 | 20 | 6 | 18,000 | 30.00% | 高58回(平成15年~18年) | 388 | 1 | 79 | 308 | 4 | 12,000 | 1.30% |
| 併中1回(昭和20年~23年)高3回 | 26 | 0 | 0 | 26 | 0 | 0 | 0.00% | 高59回(平成16年~19年) | 318 | 0 | 47 | 271 | 5 | 15,000 | 1.85% |
| 併中2回(昭和21年~24年)高4回 | 39 | 0 | 0 | 39 | 0 | 0 | 0.00% | 高60回(平成17年~20年) | 320 | 0 | 43 | 277 | 4 | 12,000 | 1.44% |
| 小計 | 5,060 | 3,995 | 476 | 589 | 42 | 128,000 | 7.13% | 高61回(平成18年~21年) | 318 | 0 | 38 | 280 | 5 | 15,000 | 1.79% |
| 高等学校 | | | | | | | | 高62回(平成19年~22年) | 322 | 0 | 25 | 297 | 7 | 21,000 | 2.36% |
| 高1回(昭和23年~24年) | 112 | 58 | 2 | 52 | 9 | 27,000 | 17.31% | 高63回(平成20年~23年) | 315 | 1 | 26 | 288 | 15 | 15,000 | 5.21% |
| 高2回(昭和23年~25年) | 194 | 90 | 22 | 82 | 17 | 51,000 | 20.73% | 高64回(平成21年~24年) | 322 | 0 | 17 | 305 | 11 | 11,000 | 3.61% |
| 高3回(昭和23年~26年) | 320 | 135 | 39 | 146 | 16 | 48,000 | 10.96% | 高65回(平成22年~25年) | 321 | 0 | 18 | 303 | 13 | 13,000 | 4.29% |
| 高4回(昭和24年~27年) | 348 | 133 | 35 | 180 | 22 | 66,000 | 12.22% | 高66回(平成23年~26年) | 318 | 0 | 3 | 315 | 20 | 21,000 | 6.35% |
| 高5回(昭和25年~28年) | 377 | 136 | 31 | 210 | 33 | 99,000 | 15.71% | 高67回(平成24年~27年) | 320 | 0 | 6 | 314 | 28 | 28,000 | 8.92% |
| 高6回(昭和26年~29年) | 381 | 111 | 49 | 221 | 30 | 90,000 | 13.57% | 高68回(平成25年~28年) | 318 | 0 | 1 | 317 | 22 | 22,000 | 6.94% |
| 高7回(昭和27年~30年) | 412 | 121 | 30 | 261 | 34 | 102,000 | 13.03% | 高69回(平成26年~29年) | 320 | 0 | 0 | 320 | 0 | 0 | 0.00% |
| 高8回(昭和28年~31年) | 387 | 106 | 44 | 237 | 43 | 129,000 | 18.14% | 小計 | 27,361 | 1,917 | 4,887 | 20,557 | 1,616 | 4,650,000 | 7.86% |
| 高9回(昭和29年~32年) | 401 | 100 | 44 | 257 | 57 | 171,000 | 22.18% | 合計 | 33,301 | 6,147 | 5,649 | 21,505 | 1,664 | 4,803,000 | 7.74% |
| 高10回(昭和30年~33年) | 408 | 99 | 35 | 274 | 61 | 183,000 | 22.26% | | | | | | | | |

※中1回から高68回までは会費の納入をお願いしている卒業回数です。高69回の方々には、ご寄付という形で納入頂いています。

終身会費納入者

同窓会活動は同窓生の会費で運営されています

平成28年10月から平成29年9月までの会費納入者と寄付者のみなさん（敬称略）

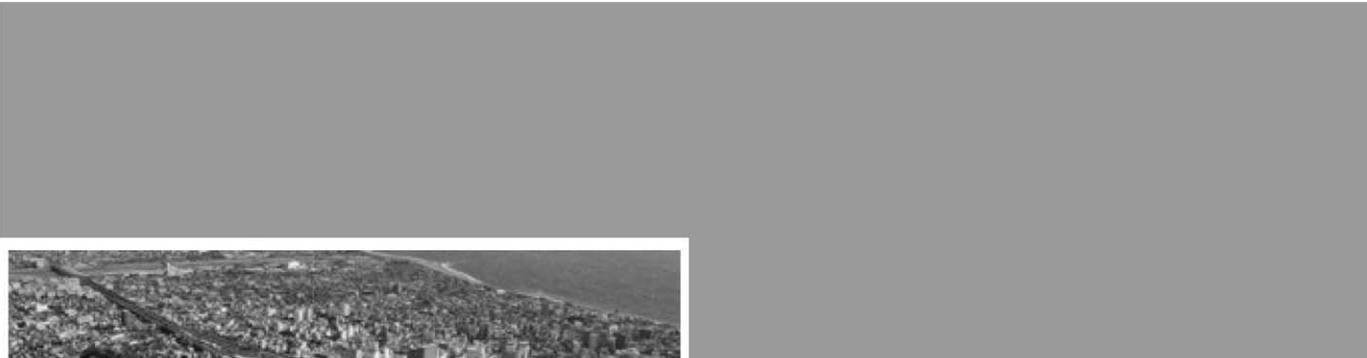
年会費・寄付金納入者





第四代校舎（※）





航空写真（西から撮影）（※）

**同窓会へのご寄付を
いただきました**

次の皆様からご寄付をいただきました。
ありがとうございました。
（敬称略・寄付年月日順）

新会員を迎えて 同窓会入会式を 開催

卒業生の全員320人のフレッシュな会員を同窓会に迎えました。思い出の母校からの旅立ちの日である卒業式を翌日に控えた3月10日に、母校体育館で、第69回卒業生の同窓会入会式が開催されました。



小野会長から委嘱状を渡す

校内幹事長津田富士夫先生（高30）の司会により、まず、小野康夫同窓会長（高13）から新入会員に対して、同窓会活動の内容、同窓生が3万人を超え、社会の幅広い分野で活躍していること、同窓会活動を通じて先輩同窓生とのつながりが、これからの生活の中で善き出会いとなることなど、入会の歓迎とこれからの活躍を期待する激励の言葉が贈られました。

引き続き、各クラス2人ずつの幹事の紹介があり、高69の常任幹事となった清龍人さんと小出萌未さんに、会長から常任幹事の委嘱状が手渡されました。新常任幹事の2人からは、常任幹事としての決意が表明されました。また、新会員に入会の記念品としてボールペンと印鑑がセットになったネームペンを贈りました。司会の津田先生から、同窓会組織の概要や各委員会等の活動紹介があり、入会式を無事に終えることができました。

掲載広告索引 (五十音順)



ご協力いただき、誠にありがとうございました。

小田高祭! Change小田高〜百段坂の先に〜

6月3日、4日の2日間、今年も生徒にとって一大イベントである小田高祭が行われました。テーマは「Change 小田高〜百段坂の先に〜」です。

今年の小田高祭でも様々な生徒たちの活躍を見ることができました。文化部の発表は素晴らしく、各部署委員会の発表、展示には在校生のほかに多くの方々が参加され大盛況でした。結果は、なんとダンス部が部活動部門、Tシャツ部門で1位、さらには小田高祭大賞でした。

1年次は今年も、折り鶴壁画で「国」をテーマに各クラス工夫を凝らした作品が出来ました。1位に選ばれたのは、1年2組の「JAPONESQUE」。日本をテーマにした歌舞伎役者の顔がダイナミックに描かれた作品でした。9クラス中6クラスが日本をテーマに各クラス力作を披露しました。

そして演劇部門では、2年8組の「世にも奇妙な物語17小田高祭特別編」、3年7組の「白ゆき姫殺人事件」がそれぞれ1位になりました。2年生はどのクラスも笑いたっぷりのものすごい盛り上がりを見せ、3年生では涙ぐむ人の姿など



たくさんの方の光景がありました。文化部、委員会、各クラス、それぞれの思いを込めて作りあげた小田高祭は、今年も盛況のうちに幕を閉じました。年々進化している小田高祭。テーマにあるChangeとはその変化を表しているのかもしれない。





中学からの進学状況 (平成29年5月1日現在)

(1) 出身中学校別生徒数

| 出身中学 | | 学 年 | | | | | |
|------|------|-----|----|----|----|----|--|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 | | |
| 小田原市 | 城山 | 11 | 12 | 17 | 40 | | |
| | 白鷗 | 2 | 10 | 4 | 16 | | |
| | 白山 | 17 | 7 | 14 | 38 | | |
| | 城南 | 8 | 4 | 0 | 12 | | |
| | 鴨宮 | 11 | 16 | 14 | 41 | | |
| | 千代 | 11 | 8 | 3 | 22 | | |
| | 国府津 | 6 | 7 | 6 | 19 | | |
| | 酒匂 | 14 | 8 | 11 | 33 | | |
| | 泉 | 11 | 10 | 10 | 31 | | |
| | 橘 | 3 | 4 | 7 | 14 | | |
| 南足柄市 | 城北 | 8 | 4 | 11 | 23 | | |
| | 南足柄 | 10 | 17 | 8 | 35 | | |
| | 岡本 | 5 | 6 | 9 | 20 | | |
| 足柄上郡 | 足柄台 | 10 | 8 | 5 | 23 | | |
| | 大井町 | 湘光 | 9 | 7 | 5 | 21 | |
| | 松田町 | 松田 | 4 | 4 | 5 | 13 | |
| | 開成町 | 寄 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 山北町 | 文命 | 10 | 8 | 8 | 26 | |
| | 中井町 | 山北 | 4 | 3 | 2 | 9 | |
| 足柄下郡 | 箱根町 | 中井 | 5 | 0 | 2 | 7 | |
| | 湯河原町 | 箱根 | 2 | 1 | 2 | 5 | |
| | 真鶴町 | 湯河原 | 8 | 3 | 7 | 18 | |
| 秦野市 | 本町 | 真鶴 | 3 | 5 | 2 | 10 | |
| | 南 | 本 | 7 | 6 | 10 | 23 | |
| | 南 | | 4 | 9 | 3 | 16 | |
| | 東 | | 4 | 6 | 1 | 11 | |
| | 北 | | 5 | 4 | 5 | 14 | |
| | 大根 | | 0 | 4 | 4 | 8 | |
| | 西 | | 5 | 10 | 15 | 30 | |
| | 南が丘 | | 12 | 5 | 3 | 20 | |
| | 洪沢 | | 6 | 6 | 5 | 17 | |
| | 鶴巻 | | 6 | 7 | 2 | 15 | |
| 伊勢原市 | 山王 | 3 | 1 | 0 | 4 | | |
| | 成瀬 | 2 | 5 | 5 | 12 | | |
| | 伊勢原 | 4 | 7 | 7 | 18 | | |
| | 中沢 | 4 | 3 | 5 | 12 | | |
| 平塚市 | 江陽 | 1 | 2 | 2 | 5 | | |
| | 太陽 | 0 | 2 | 3 | 5 | | |
| | 春日野 | 0 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 浜岳 | 13 | 3 | 1 | 17 | | |
| | 大野 | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 金旭 | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 中原 | 1 | 1 | 1 | 3 | | |
| 山城 | 0 | 1 | 1 | 2 | | | |

| 出身中学 | | 学 年 | | | | | |
|---------|----------|-----|----|----|----|----|--|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 | | |
| 平塚市 | 神明 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| | 金目 | 1 | 1 | 2 | 4 | | |
| | 旭陵 | 0 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 大磯町 | 大磯 | 6 | 9 | 13 | 28 | |
| | | 国府 | 5 | 3 | 8 | 16 | |
| | 二宮町 | 二宮 | 8 | 6 | 8 | 22 | |
| | | 二宮西 | 2 | 7 | 7 | 16 | |
| | 茅ヶ崎市 | 第一 | 2 | 0 | 7 | 9 | |
| | | 鶴嶺 | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| | | 松林 | 1 | 1 | 3 | 5 | |
| | | 西浜 | 1 | 2 | 1 | 4 | |
| 松浪 | | 3 | 3 | 6 | 12 | | |
| 梅田 | | 1 | 4 | 2 | 7 | | |
| 鶴が台 | | 0 | 1 | 1 | 2 | | |
| 浜須賀 | | 1 | 4 | 0 | 5 | | |
| 北陽 | | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| 中島 | | 1 | 3 | 3 | 7 | | |
| 赤羽根 | | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| 萩園 | | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| 高座郡 寒川町 | | 寒川 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 手広 | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| 鎌倉市 | 横浜国大附属鎌倉 | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| | 第一 | 1 | 1 | 0 | 2 | | |
| 藤沢市 | 明治 | 1 | 0 | 1 | 2 | | |
| | 鶴沼 | 2 | 2 | 0 | 4 | | |
| | 湘洋 | 2 | 1 | 0 | 3 | | |
| | 藤ヶ岡 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 高浜 | 2 | 1 | 0 | 3 | | |
| | 秋葉台 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 大庭 | 1 | 1 | 0 | 2 | | |
| | 村岡 | 2 | 4 | 1 | 7 | | |
| | 湘南台 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| | 滝の沢 | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 厚木 | 5 | 2 | 0 | 7 | | |
| | 小鮎 | 1 | 1 | 0 | 2 | | |
| | 玉川 | 4 | 1 | 1 | 6 | | |
| | 南毛利 | 4 | 6 | 1 | 11 | | |
| 東利 | 2 | 4 | 2 | 8 | | | |
| 林 | 1 | 0 | 1 | 2 | | | |
| 森の里 | 2 | 6 | 1 | 9 | | | |
| 相川 | 0 | 1 | 0 | 1 | | | |
| 海老名市 | 海老名 | 1 | 0 | 1 | 2 | | |
| | 海西 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| | 大谷 | 0 | 0 | 2 | 2 | | |

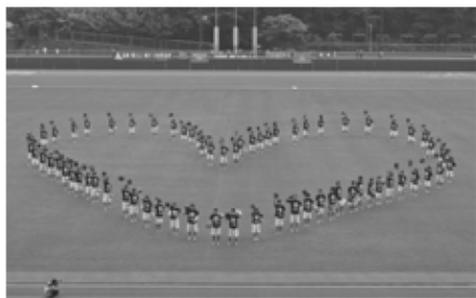
| 出身中学 | | 学 年 | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 | |
| 海老名市 | 今泉 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 座間 | 1 | 0 | 1 | 2 | |
| 座間市 | 相模 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 城北 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| 綾瀬市 | 北の台 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 大野南 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 相模原市 | 戸塚 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 汲沢 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 西本郷 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| 横浜市 | 共進 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | その他 | 3 | 1 | 2 | 6 | |
| 合計 | | 324 | 323 | 312 | 959 | |

(2) 居住地別人数

| 出身中学 | | 学 年 | | | | |
|---------|------|-----|-----|-----|-----|--|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 | |
| 小田原市 | | 106 | 90 | 98 | 294 | |
| 南足柄市 | | 25 | 32 | 22 | 79 | |
| 足柄上郡 | 大井町 | 9 | 7 | 5 | 21 | |
| | 松田町 | 5 | 4 | 5 | 14 | |
| | 開成町 | 10 | 8 | 8 | 26 | |
| | 山北町 | 4 | 3 | 2 | 9 | |
| | 中井町 | 5 | 0 | 2 | 7 | |
| 足柄下郡 | 箱根町 | 3 | 1 | 4 | 8 | |
| | 湯河原町 | 9 | 3 | 6 | 18 | |
| | 真鶴町 | 2 | 5 | 2 | 9 | |
| 秦野市 | | 48 | 56 | 49 | 153 | |
| 伊勢原市 | | 13 | 16 | 16 | 45 | |
| 平塚市 | | 18 | 13 | 12 | 43 | |
| 中郡 | 大磯町 | 10 | 11 | 22 | 43 | |
| | 二宮町 | 12 | 13 | 15 | 40 | |
| 茅ヶ崎市 | | 12 | 21 | 24 | 57 | |
| 高座郡 寒川町 | | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 鎌倉市 | | 1 | 1 | 0 | 2 | |
| 藤沢市 | | 12 | 13 | 3 | 28 | |
| 厚木市 | | 18 | 21 | 6 | 45 | |
| 海老名市 | | 1 | 0 | 5 | 6 | |
| 座間市 | | 1 | 0 | 2 | 3 | |
| 綾瀬市 | | 0 | 1 | 1 | 2 | |
| 相模原市 | | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 横浜市 | | 0 | 4 | 0 | 4 | |
| 熱海市 | | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 合計 | | 324 | 323 | 312 | 959 | |

雨雲を吹き飛ばす体育祭

連日、雨雲が漂う嫌なムードを消し飛ばしたのは生徒たちのやる気でした。9月に入り雨天が続く中、体育祭当日も天気予報では雨でした。しかし9月7日体育祭本番、嘘のように晴れた当日は城山競技場が生徒の意欲、笑顔で溢れかえりました。今年、「槍取り合戦」「騎馬戦」が特に盛り上がり、熱戦を繰り広げていました。また、混合リレーでは手に汗握る勝負。そして一番盛り上がったのは応援合戦でした。一糸乱れず、見る者を虜にするようなダンスに今年も酔いしれることが出来たとともに、どの色も本心に素晴らしくて感動しました。ダンス部門で優勝したのは青団でしたが、どの団が優勝してもおかしくなかった出来栄でした。



こうして今年も素晴らしい体育祭は幕を閉じ、後夜祭では伝統のフォークダンスをたくさん生徒が踊っているその姿は、体育祭がとて充実していたことを示していました。ちなみに、Tシャツ部門は黒団、横断幕は橙団がそれぞれ1位になりました。また、競技総合では黄団が1位でした。

平成28年度 入試結果と進路状況

大学別合格者数

【国公立大学】

合格者合計86名
(現役生67名、既卒生19名)

| 大学名 | 合計 | 内現役 |
|--------|----|-----|
| 帯広畜産 | 2 | 1 |
| 北海道 | 1 | 1 |
| 東北道 | 1 | 1 |
| 茨城 | 1 | 1 |
| 筑波 | 3 | 2 |
| 宇都宮 | 1 | 1 |
| 埼玉 | 2 | 2 |
| 千葉 | 6 | 4 |
| 電気通信 | 1 | 1 |
| 東京学芸 | 1 | 1 |
| 東京工業 | 2 | 0 |
| 東京農工 | 2 | 2 |
| 一橋 | 1 | 0 |
| 横浜国立 | 20 | 17 |
| 富山 | 1 | 1 |
| 金沢 | 1 | 0 |
| 山梨 | 4 | 4 |
| 信州 | 3 | 2 |
| 岐阜 | 2 | 1 |
| 静岡 | 2 | 2 |
| 名古屋 | 2 | 1 |
| 京都 | 1 | 1 |
| 香川 | 1 | 1 |
| 高知 | 1 | 1 |
| 埼玉県立 | 1 | 0 |
| 首都大学東京 | 10 | 9 |
| 県立保健福祉 | 3 | 3 |
| 横浜市立 | 9 | 6 |
| 静岡文化芸術 | 1 | 1 |

【私立大学】

合格者合計989名
(現役生702名、既卒生387名)

| 大学名 | 合計 | 内現役 |
|--------|----|-----|
| 青山学院 | 39 | 33 |
| 麻布 | 5 | 4 |
| 大妻女子 | 1 | 1 |
| 桜美林 | 3 | 1 |
| 学習院 | 10 | 8 |
| 学習院女子 | 3 | 3 |
| 神奈川 | 23 | 18 |
| 神奈川工科 | 1 | 1 |
| 神奈川歯科 | 1 | 1 |
| 鎌倉女子 | 3 | 3 |
| 関西外国語 | 2 | 2 |
| 関西学院 | 1 | 0 |
| 関東学院 | 2 | 0 |
| 北里 | 23 | 21 |
| 京都産業 | 1 | 1 |
| 共立女子 | 2 | 2 |
| 杏林 | 7 | 7 |
| 近畿 | 1 | 0 |
| 慶應義塾 | 14 | 12 |
| 工学院 | 10 | 8 |
| 國學院 | 22 | 17 |
| 国際医療福祉 | 5 | 5 |
| 国際基督教 | 2 | 2 |
| 国士舘 | 3 | 2 |
| 駒澤 | 11 | 7 |
| 駒沢女子 | 2 | 1 |
| 相模女子 | 1 | 1 |
| 産業能率 | 4 | 4 |
| 芝浦工業 | 29 | 13 |
| 順天堂 | 5 | 4 |
| 上智 | 22 | 16 |
| 湘南医療 | 1 | 1 |
| 上武 | 2 | 0 |

| 大学名 | 合計 | 内現役 |
|---------|----|-----|
| 昭和 | 4 | 3 |
| 昭和音楽 | 1 | 1 |
| 昭和女子 | 4 | 2 |
| 昭和薬科 | 9 | 5 |
| 女子栄養 | 1 | 0 |
| 成蹊 | 3 | 2 |
| 成城 | 14 | 4 |
| 聖路加国際 | 1 | 1 |
| 専修 | 43 | 22 |
| 創価 | 1 | 1 |
| 大正 | 1 | 1 |
| 大東文化 | 5 | 1 |
| 玉川 | 9 | 9 |
| 多摩美術 | 1 | 1 |
| 中央 | 64 | 52 |
| 津田塾 | 1 | 1 |
| 鶴見 | 1 | 1 |
| 帝京 | 13 | 10 |
| 帝京平成 | 2 | 2 |
| 東海 | 58 | 25 |
| 東京家政学院 | 1 | 1 |
| 東京工科 | 15 | 13 |
| 東京工芸 | 1 | 0 |
| 東京国際 | 1 | 1 |
| 東京女子 | 4 | 4 |
| 東京女子医科 | 1 | 0 |
| 東京電機 | 5 | 5 |
| 東京都市 | 21 | 13 |
| 東京農業 | 24 | 15 |
| 東京薬科 | 4 | 2 |
| 東京理科 | 32 | 21 |
| 同志社 | 6 | 4 |
| 東邦 | 1 | 1 |
| 東洋 | 17 | 3 |
| 東洋英和女学院 | 1 | 1 |
| 獨協 | 1 | 0 |

| 大学名 | 合計 | 内現役 |
|-----------|----|-----|
| 日本 | 62 | 48 |
| 日本歯科 | 1 | 1 |
| 日本女子 | 9 | 7 |
| 福山 | 1 | 1 |
| 文教 | 3 | 3 |
| 法政 | 81 | 64 |
| 星薬科 | 4 | 2 |
| 松山 | 1 | 1 |
| 武蔵野 | 6 | 5 |
| 武蔵野美術 | 4 | 4 |
| 明治 | 70 | 53 |
| 明治学院 | 21 | 17 |
| 明治薬科 | 2 | 1 |
| 名城 | 1 | 1 |
| 明星 | 3 | 2 |
| 目白 | 1 | 1 |
| 安田女子 | 1 | 1 |
| 横浜創英 | 1 | 1 |
| 横浜薬科 | 3 | 2 |
| 立教 | 24 | 19 |
| 立正 | 2 | 2 |
| 立命館 | 8 | 7 |
| 立命館アジア太平洋 | 7 | 2 |
| 早稲田 | 41 | 30 |

校種別の進路

| | 男子 | 女子 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|
| 4年制大学 | 128 | 107 | 235 |
| 短期大学 | 0 | 0 | 0 |
| 大 学 校 | 0 | 0 | 0 |
| 専門学校 | 1 | 1 | 2 |
| 就 職 | 0 | 0 | 0 |
| 進学準備 | 58 | 25 | 83 |
| 合 計 | 187 | 133 | 320 |

部活動の記録(平成28年後期～平成29年前期)

■全国大会出場

▼少林寺拳法部

2016年少林寺拳法全国大会 in おおいた
女子単演級拳士の部
出場

平成29年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技兼
第44回全国高等学校少林寺拳法大会
出場

女子単演級
出場

第20回全国高等学校選抜少林寺拳法大会
出場

女子単演級
出場

弁論の部
6位

美術部
美術・工芸部門
6位

第41回全国高等学校総合文化祭
美術・工芸部門
出場

▼放送部
第64回NHK杯全国高校放送コンテスト
出場

第19回関東高等学校少林寺拳法選抜大会
出場

女子自由単演級
7位

女子自由単演級
7位

女子自由単演級
7位

女子団体演武
出場

第48回関東高等学校少林寺拳法大会
出場

女子単演級
出場

女子組演武
出場

▼女子ソフトテニス部
第68回関東高等学校ソフトテニス選手権大会
5位

女子個人
5位

2回戦進出
出場

第72回国民体育大会関東ブロック大会
2位

陸上競技部
第70回関東高等学校陸上競技大会
出場

男子800m
出場

▼弓道部
第36回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会
出場

■県大会

▼弓道部

第55回神奈川県青少年武道錬成会
男子個人
優勝

女子個人
準優勝

平成28年度神奈川県高等学校新人戦弓道大会
男子団体
3位

女子団体
3位

第62回全国総合体育大会県予選会
女子個人
3位

第63回全国総合体育大会県予選会
男子団体
8位

女子団体
8位

第56回青少年武道錬成会
女子個人
2位

平成29年度神奈川大会兼関東個人選抜県予選会
男子個人
7位

女子個人
9位

女子個人
11位

▼少林寺拳法部
第27回神奈川県高等学校少林寺拳法新人大会兼
全国高等学校選抜少林寺拳法神奈川県予選
4位

男子自由単演級
4位

女子自由単演級
優勝

女子自由単演級
優勝

女子自由単演級
準優勝

女子規定単演級
4位

女子規定単演級
4位

女子自由組演武
5位

女子自由組演武
5位

弁論の部
優勝

弁論の部
優勝

弁論の部
3位

女子団体演武
準優勝

平成29年度神奈川県高等学校少林寺拳法大会兼
関東大会県予選
優勝

女子単演級
優勝

女子組演武

平成29年度神奈川県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技兼
全国高等学校総合体育大会県予選
優勝

女子単演級
優勝

▼女子ソフトテニス部
平成28年度神奈川県高等学校ソフトテニス新人大会
女子団体
4位

平成29年度神奈川県高等学校ソフトテニス大会兼
関東高等学校ソフトテニス大会神奈川県予選会
女子団体
4位

女子個人
ベスト8

女子100m

第19回高校生ダンスコンテスト
DANCE IN MOTION 2017 SPRING
県4位

▼ダンス部
第19回神奈川県かるた選手権大会
F級
優勝

平成28年度神奈川県高等学校総合文化祭
無段者の部
優勝(高文連会長賞受賞)

初級者の部
優勝



第29号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 榎友会連絡先
お城越え 二の丸から 山上に春一番
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org
私書箱 〒250-8691
日本郵便(株)小田原郵便局
私書箱15号
県立小田原高等学校同窓会
ホームページ <https://odako.org>

至誠無息
堅忍不拔



創立明治33年(1900)
開校明治34年(1901)
神奈川県第二中学校



タイトルイラスト：高田綾乃さん(2年)



小田原高校同窓会 榎友会ホームページを
ご活用ください

小田原高校同窓会

検索



携帯・スマホから
住所変更等を連絡できます

メールは kenyukai@odako.org

同期会、地域・職域同窓会、部OB会などの開催案内をホームページに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

ホームcomingデーの開催の様子をはじめ、同窓会の活動や小田高の写真をご覧になれます。

ホームページから同窓会に住所変更を連絡したり、各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!